

第12回

学生生活実態調査報告書

The Report on the 12th survey of NIFS Student's Life



令和5年3月

国立大学法人鹿屋体育大学

National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

目 次

●	はじめに	1
●	学生生活実態調査の概要	2
●	調査の結果	
	I 調査の実施状況	4
	II 生活状況	5
	III 健康状態	13
	IV 課外活動状況	17
	V 大学生活の状況	21
	VI ハラスメント	26
	VII 学内施設利用状況	29
	VIII 新型コロナウイルス感染症	31
	IX 大学への意見・要望	35
	X 大学に対する満足度	35
●	あとがき	36
●	参考資料 第12回学生生活実態調査アンケート項目一覧	37

はじめに

この調査報告書は、本学学生の生活状況の実態、心身の健康管理や実際に抱えている諸問題等の現況を把握することで、学生指導に役立たせることを目的に3年毎に行われ、今回で12回目の調査となりました。

周知のとおり、3年前の令和2年度初頭より新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、これまでの生活スタイルは一気に様変わりしました。つまり今回の調査は、コロナ禍における初めての調査となりますので、その結果は大変貴重な資料になると思われれます。

本調査内容については、前回（令和元年度実施）の内容を基本的に踏襲して、「生活状況」、「健康状態」、「課外活動状況」、「大学生活の状況」、「ハラスメント」、「学内施設利用状況」等、多項目にわたり調査を行いました。更に、今回は学部生だけでなく大学院生も対象としています。

本学学生支援の特徴としては、小クラスまたはゼミナール単位での少人数教育が挙げられます。これは学生個人が充実した大学生活を送れるよう適切な助言・指導を行うために全教員出勤方式で取り組んでいるものです。

また、本学は体育大学であることから、学生の約9割が課外活動団体に所属して日々活動に取り組んでおり、その中で育まれる倫理観や社会規範など、それぞれの人間形成にも大きく関与していることが大きな特徴と言えます。

この報告書は、縁あって本学に入学し、仲間となった学生の皆さんが、学生同士の連帯感、信頼感などの醸成、自身が抱えている問題の解決の手掛かりとして活用され、有意義な学生生活を送っていただくための資料とならんことを切望します。また、教職員の方々にも、本報告書を様々な場面で学生生活指導に有効に役立たせていただければ幸いです。

本調査にご協力いただきました学生諸氏、本調査の実施・報告書の作成にご協力いただきました学生委員会委員及び関係する教職員の皆様方に、敬意と感謝の意を尽くして深く御礼申し上げます。

令和5年3月

令和4年度学生委員会

委員長 前 阪 茂 樹

学生生活実態調査の概要

1. 調査目的

本調査（学生生活実態調査）は、本学学生の生活及び課外活動などの状況を把握し、学生の経済的実情及び課外活動などに対する意識や取組みを明らかにするとともに、今後の学生に対する支援事業等の改善充実を図るための基礎資料を得ることを目的として実施しています。

なお、本調査結果については分析した上で報告書を作成し、その報告書を今後の学生に対するより一層の支援事業等の改善充実を図るための基礎資料として活用します。

2. 調査実施組織

本調査については、本学常任委員会である学生委員会が担当し、実施しました。
同委員会の構成員（令和4年度）については、次のとおり。

委員長：前阪 茂樹 学長補佐（学生支援担当）・教授
副委員長：濱田 幸二 学長補佐（競技力向上・国体担当）・教授
委員：小澤 雄二 教授 安田 修 教授 吉重 美紀 教授
堀内 雅弘 教授 浜田 幸史 准教授 廣津 匡隆 准教授
松村 勲 准教授 隅野 美砂輝 准教授 佐々木 勝啓 学生課長

3. 調査対象及び方法

本学に在学する学部学生全員 761 人及び大学院生全員 68 人（令和4年10月1日に在籍する正規生のうち休学者を除いた者）を調査対象としました。

今回の調査は、Microsoft Forms を利用したアンケート形式を用いて実施しました。
対象の学生数(在籍学生数)については次のとおりです。

学部生:令和4年10月1日現在

(単位:人)

学年 課程	1年 (令和4年度入学)	2年 (令和3年度入学)	3年 (令和2年度入学)	4年 (平成31年度以前入学)	計
スポーツ総合課程	130	129	143	151	553
武道課程	53	52	50	53	208
計	183	181	193	204	761

※休学者、非正規生は除く。

大学院生:令和4年10月1日現在

(単位:人)

学年 課程	1年 (令和4年度入学)	2年 (令和3年度以前入学)	計
修士課程	17	23	40

(単位:人)

学年 課程	1年 (令和4年度入学)	2年 (令和3年度入学)	3年 (令和2年度以前入学)	計
博士後期課程 または 後期3年の課程 のみの博士課程	7	8	13	28

※休学者、非正規生は除く。

4. 調査時期

調査基準日：令和4年10月1日

調査期間：令和4年10月3日（月）～10月28日（金）

5. 調査項目

調査項目については、これまでの質問内容を元に、新型コロナウイルス感染症に関する項目を設定し、内容の調整を行いました。

I 基本事項、II 生活状況、III 健康状態、IV 課外活動状況、V 大学生活の状況、VI ハラスメント、VII 学内施設利用状況、VIII 新型コロナウイルス感染症に関して、IX 大学への意見・要望、X 大学に対する満足度

6. 調査結果の分析、報告書の作成

本調査の集計は学生課で行い、集計結果をもとに学生委員会委員が分析・報告書の執筆を行いました。なお、本報告書は電子ファイル（PDF）により、学内及び学外へ公式ホームページにて公開します。

I 調査の実施状況

学部学生 761 人（休学者、非正規生は除く）のうち、回答者は 609 人で回答率は 80.0%でした（前回調査の回答率は 57.9%）。課程別の回答率はスポーツ総合課程 82.6%、武道課程 73.1%でした。学年別の回答率をみると最も高いのは3年次生で 86.5%でした。次いで2年次生 80.7%、1年次生 79.2%、4年次生 74.0%であり、全学年とも前回調査を大きく上回る回答率でした。

今回初めて調査対象とした大学院生について、修士課程の学生 40 人のうち、回答者は 25 人で回答率は 62.5%でした。博士後期課程または後期3年の課程のみの博士課程の学生 28 人のうち、回答者は 11 名で回答率は 39.3%でした。大学院生は人数が少ない分、1人の回答の有無で回答率が変わるため、次回は1人でも多くの学生へ回答してもらえようようにしたいところです。

回答状況一覧（休学者、非正規生は除く）

【学部生】

学年		課程	スポーツ総合	武道	総計
1年 (令和4年度入学)	対象数		130	53	183
	回答数		108	37	145
	回答率		83.1%	69.8%	79.2%
2年 (令和3年度入学)	対象数		129	52	181
	回答数		109	37	146
	回答率		84.5%	71.2%	80.7%
3年 (令和2年度入学)	対象数		143	50	193
	回答数		124	43	167
	回答率		86.7%	86.0%	86.5%
4年 (平成31年度以前入学)	対象数		151	53	204
	回答数		116	35	151
	回答率		76.8%	66.0%	74.0%
総計	対象数		553	208	761
	回答数		457	152	609
	回答率		82.6%	73.1%	80.0%

【大学院生】

学年		課程	修士
1年 (令和4年度入学)	対象数		17
	回答数		15
	回答率		88.2%
2年 (令和3年度以前入学)	対象数		23
	回答数		10
	回答率		43.5%
総計	対象数		40
	回答数		25
	回答率		62.5%

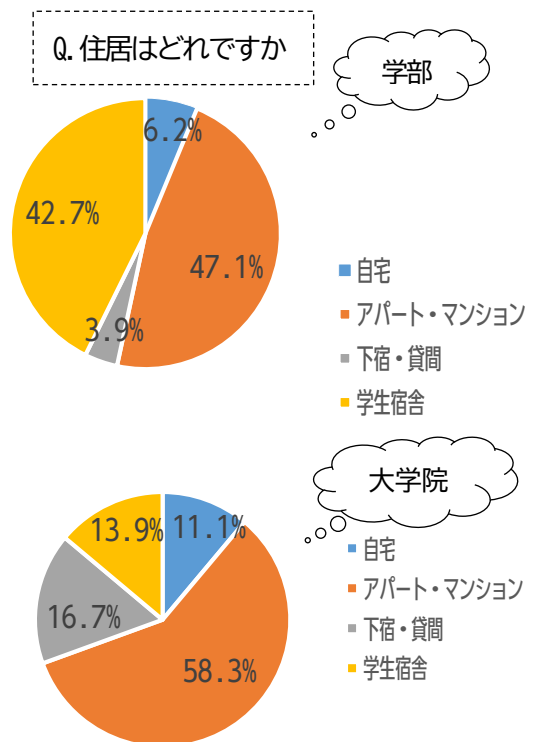
学年		課程	博士後期課程 または 後期3年の課程のみの博士課程
1年 (令和4年度入学)	対象数		7
	回答数		5
	回答率		71.4%
2年 (令和3年度入学)	対象数		8
	回答数		5
	回答率		62.5%
3年 (令和2年度以前入学)	対象数		13
	回答数		1
	回答率		7.7%
総計	対象数		28
	回答数		11
	回答率		39.3%

II 生活状況

1. 住居

学部生については、「アパート・マンション」47.1%、および「学生宿舎」42.7%で殆どを占めていますが、前回から若干ですが減少となりました。それに伴い「下宿・貸間」3.9%、および「自宅」6.2%で若干増加となり、そちらへ移行したようです。

次に大学院生ですが、「アパート・マンション」58.3%、「下宿・貸間」16.7%、「学生宿舎」13.9%、「自宅」11.1%でありました。

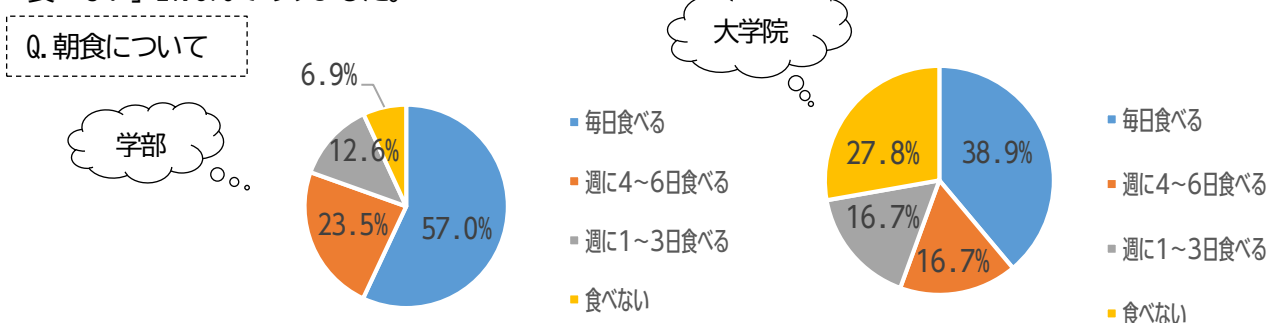


2. 食事

(1) 朝食について

朝食を「毎日食べる」と答えた学生は、57.0%で、前回から若干ですが減少となりました。「食べない」6.9%、「週に1~3日食べる」12.6%という欠食が多い学生もいることから、改善が必要と考えられます。

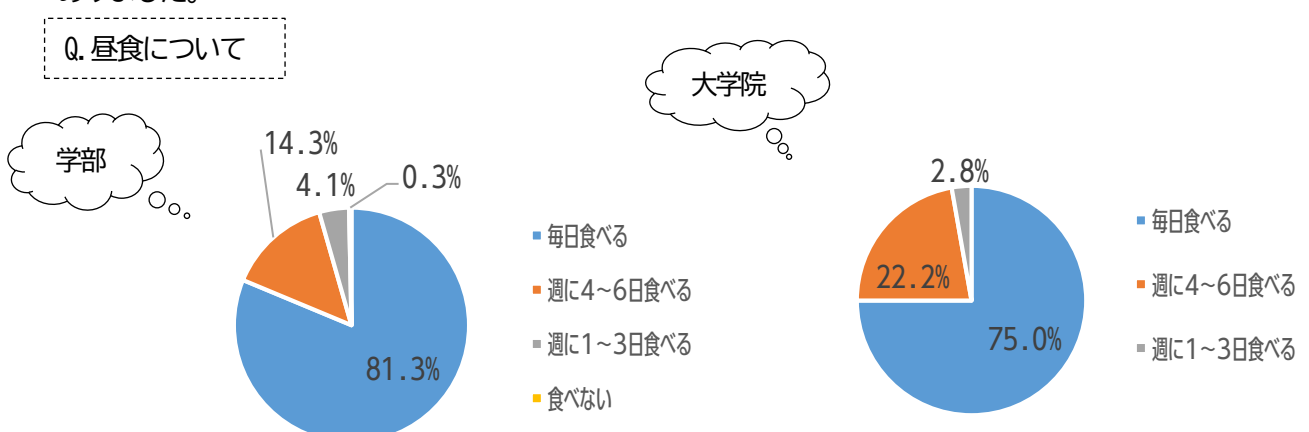
次に大学院生ですが、「毎日食べる」38.9%、「週に4~6日食べる」16.7%、「週に1~3日食べる」16.7%、「食べない」27.8%でありました。



(2) 昼食について

昼食は「毎日食べる」が81.3%で、全体的には前回同様の傾向となりました。競技種目によっては減量を必要とする競技もあり、この学生が毎日食べる以外の割合に含まれていることも考えられます。

次に大学院生ですが、「毎日食べる」75.0%、「週に4~6日食べる」22.2%、「週に1~3日食べる」2.8%でありました。



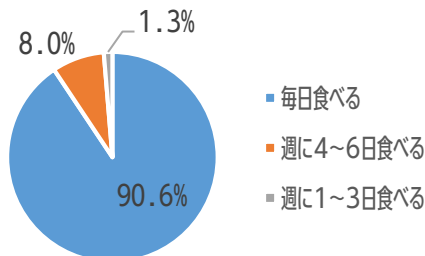
(3) 夕食について

夕食は「毎日食べる」が90.6%、一方で、1割ほどの学生が週に1日以上夕食を食べないという点が、前回同様の結果であることから、規則正しい生活、食習慣について経過をみる必要があると考えられます。

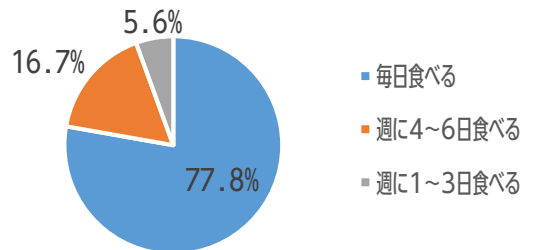
次に大学院生ですが、「毎日食べる」77.8%、「週に4~6日食べる」16.7%、「週に1~3日食べる」5.6%でありました。

Q. 夕食について

学部



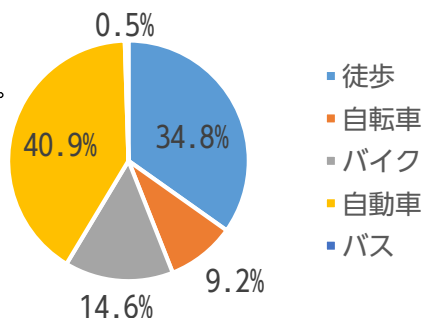
大学院



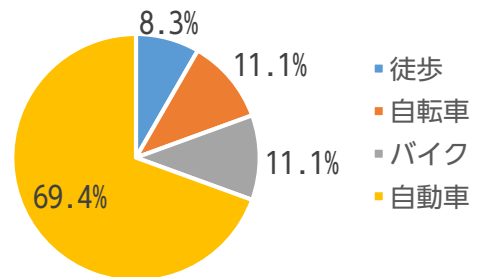
3. 通学のための交通手段

Q. 通学のための交通手段は主に何ですか

学部



大学院



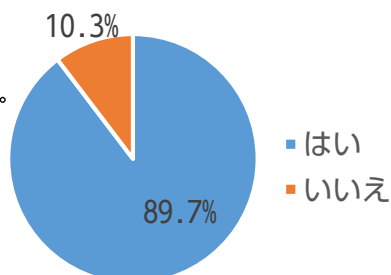
「自動車」が40.9%と最も多く、次いで「徒歩」34.8%、「バイク」14.8%、「自転車」9.2%の順で、前回の調査と異なる結果となりました。この1年、「バイク」や「自転車」から「自動車」での通学に移行した学生が増えたことがうかがえます。

次に大学院生ですが、「自動車」69.4%、「自転車」11.1%、「バイク」11.1%、「徒歩」8.3%でありました。

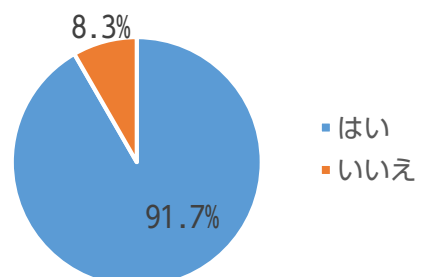
4. 運転免許の取得

Q. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか

学部



大学院

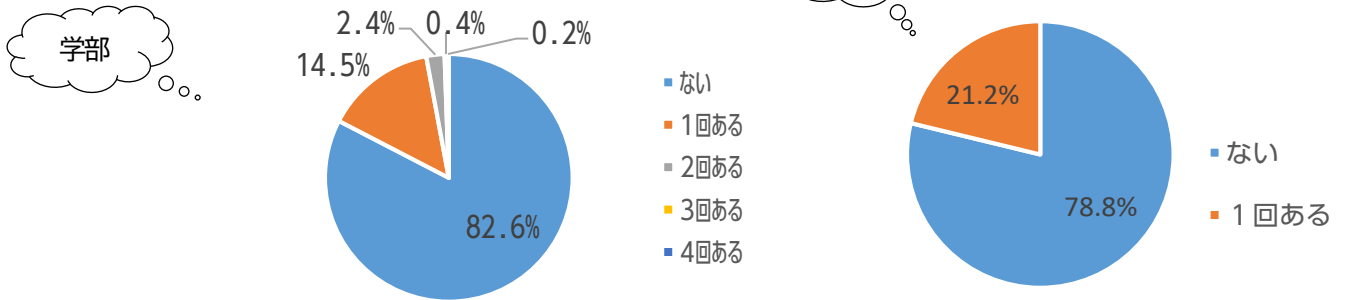


「はい」と答えた学生は89.7%で、9割ほどが自動車およびバイクの運転免許を取得していました。次に大学院生ですが、「はい」91.7%、「いいえ」8.3%でありました。

5. 交通違反

(1) 入学後の交通違反回数

Q. 入学後交通違反をしたことがありますか



「ない」と回答した学生は82.6%で、前回の調査の80.9%よりも増えています。一方、2回以上の違反者は3%でした。前回の調査よりも、交通違反者が減少していることがうかがえます。学生の交通ルールに対する意識が向上していることが考えられますが、引き続き交通安全に対する取組を継続していく必要があります。

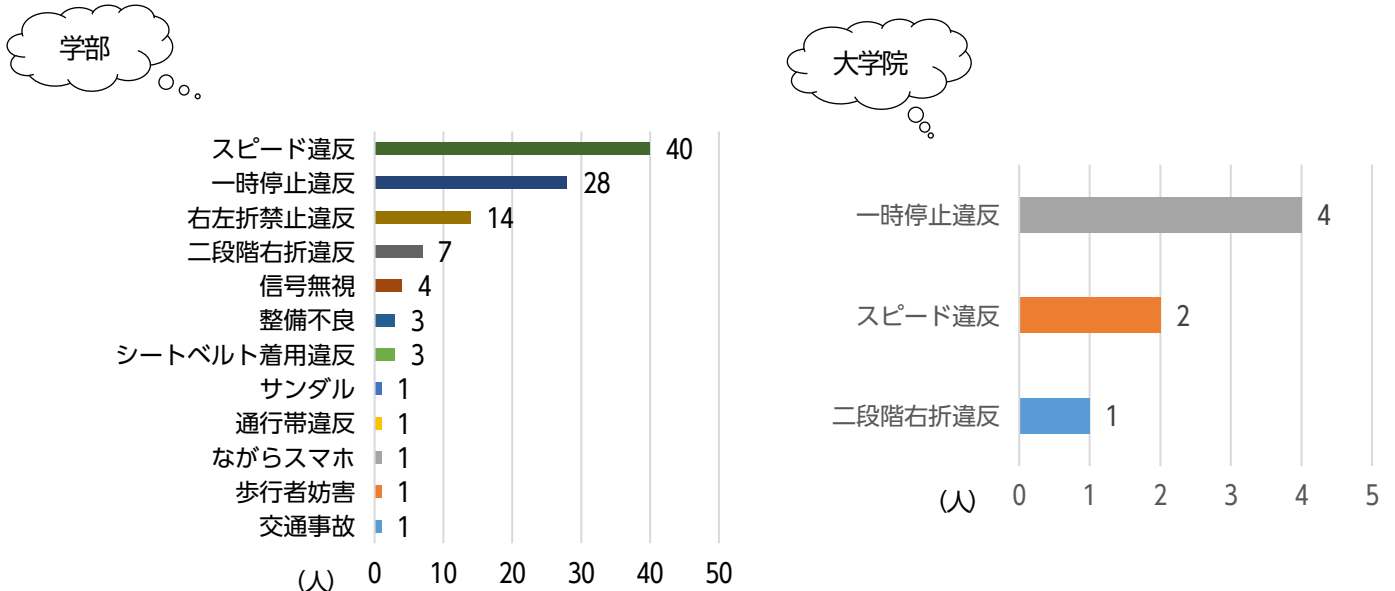
次に大学院生ですが、「ない」78.8%、「1回ある」21.2%でありました。

(2) 交通違反の種類

「スピード違反」40件が最も多く、次いで「一旦停止違反」28件、「左右折禁止違反」14件、「二段階右折違反」7件となっています。違反者が減少しているとはいえ、大学として交通安全の啓発活動が必要といえます。

次に大学院生ですが、「一旦停止違反」4件、「スピード違反」2件、「二段階右折違反」1件となっています。

Q. 交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。(複数回答可)



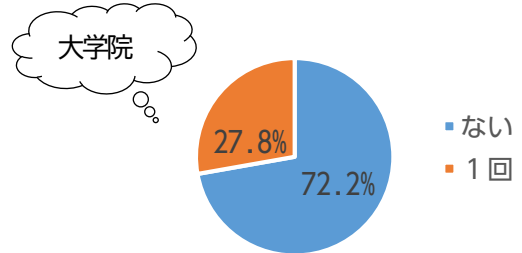
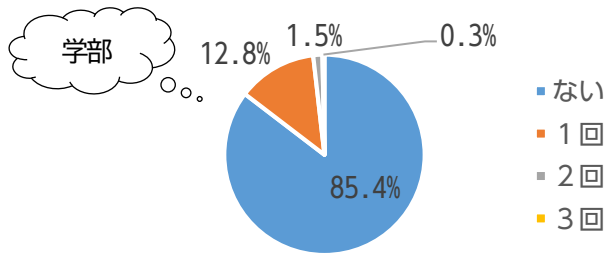
6. 交通事故

(1) 入学後の交通事故

「ない」が85.4%、「1回」が12.8%、「2回以上」が1.8%で、全体的には前回同様の傾向となりました。交通事故には未然に防ぐことができる場合とできない場合がありますが、今後も学生の交通マナーを向上させることが重要といえます。

次に大学院生ですが、「ない」72.2%、「1回」27.8%でありました。

Q. 入学後交通事故にあった（をした）ことがありますか

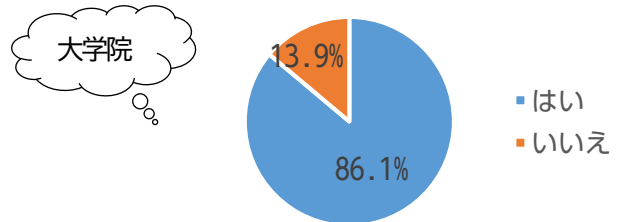
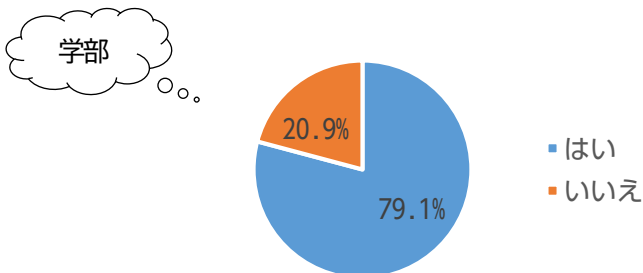


(2) 自動車、バイクの所有

8割ほどの学生が自動車もしくはバイクを所有していました。

次に大学院生ですが、「はい」86.1%、「いいえ」13.9%でありました。

Q. 自動車（バイクを含む）を所有していますか。

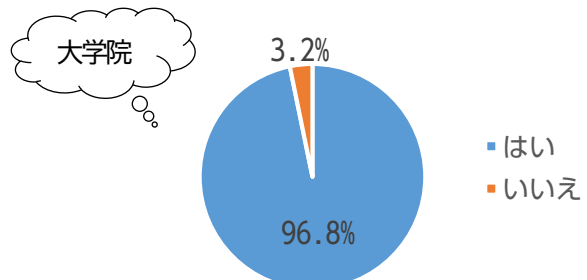
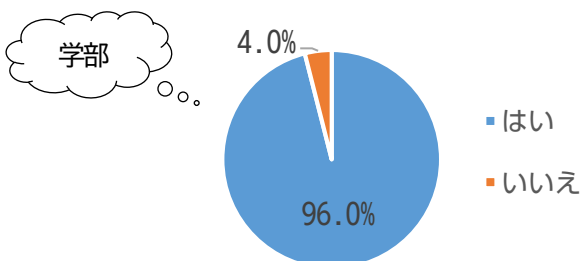


(3) 任意保険の加入状況

「はい」と回答した学生は96.0%で、前回の調査の95.4%よりも任意保険の加入者が増えています。しかしながら、万が一の事故に備え、任意保険の加入を強く呼びかける必要があると考えられます。

次に大学院生ですが、「はい」96.8%、「いいえ」3.2%でありました。

Q. 自動車（バイクを含む）を所有している人にお尋ねします。
任意保険に加入していますか。



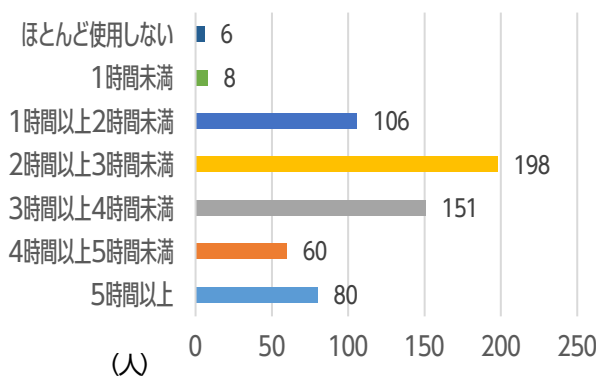
7. 学修目的以外のインターネット・携帯電話・スマートフォン等の使用状況

「2時間以上3時間未満」198人が最も多く、次いで「3時間以上4時間未満」151人、「1時間以上2時間未満」106人となっています。前回の調査よりも全体的に利用時間が増し、1時間以上使用する学生の割合は97%を超えており、通信端末の利用が生活の一部になっていることがうかがえます。しかしながら、利用方法によっては、学業の妨げだけでなく、事件・事故の誘発や身体・精神的問題に発展することも懸念されます。大学として利用方法に関するリテラシーを高める活動が必要であると考えられます。

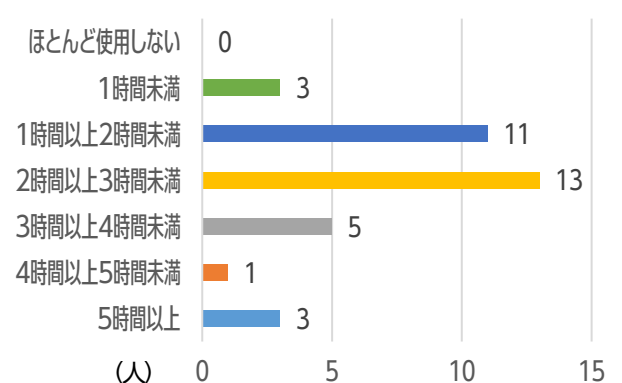
次に大学院生ですが、「2時間以上3時間未満」13人、「1時間以上2時間未満」11人、「3時間以上4時間未満」5人でありました。

Q. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか

学部



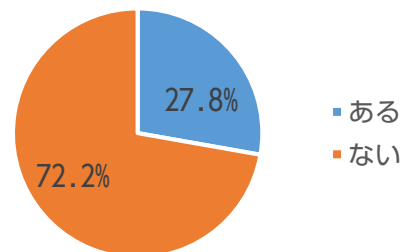
大学院



8. (大学院生のみ) 現在の就業先

大学院生のうち、常勤や非常勤で勤務している学生は27.8%でした。

Q. 現在、常勤または非常勤で勤務している就業先がありますか。



9. アルバイト経験と紹介元

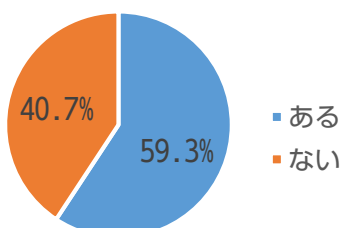
(1) 今年度のアルバイト経験

前回の調査に比べ、アルバイト経験者が若干増加し、「ある」が59.3%、「ない」が40.7%で、6割ほどの学生はアルバイトに従事していることとなります。

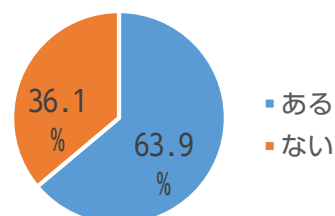
次に大学院生ですが、「ある」が63.9%、「ない」が36.1%でありました。また、現在の常勤または非常勤で勤務している就職先の有無について、「ある」が27.8%、「ない」が72.2%でありました。

Q. 今年度、アルバイトをしたことがありますか (していますか)

学部



大学院

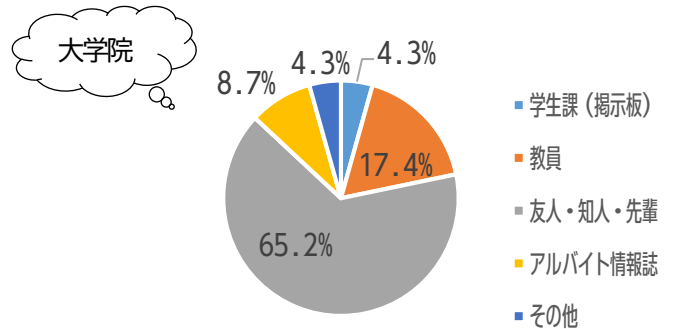
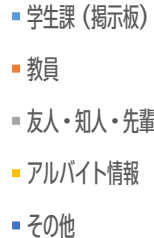
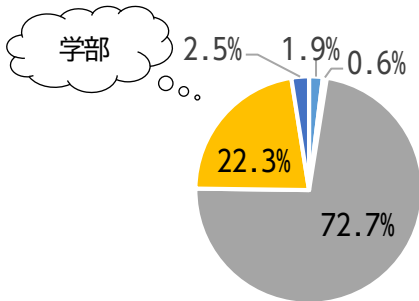


(2) アルバイトの主な紹介元

前回の調査と同様に、「友人・知人・先輩」が最も多く 72.7%、次いで「アルバイト情報誌」22.3%となりました。個人の人脈を通じてアルバイトが紹介される場合が多いようです。

次に大学院生ですが、「友人・知人・先輩」65.2%、「教員」17.4%、「アルバイト情報誌」8.7%でありました。

Q. アルバイトの主な紹介元はどこですか

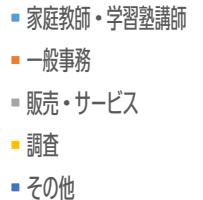
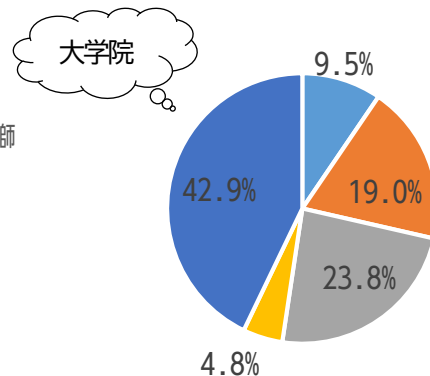
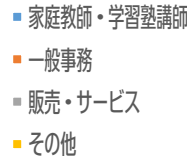
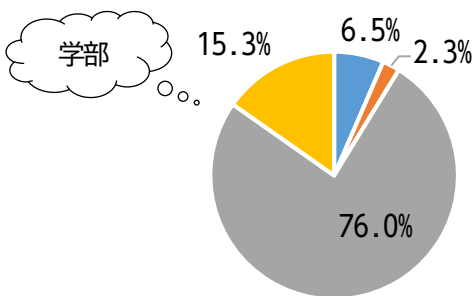


(3) アルバイトの職種

「販売・サービス」76.0%が最も多く、「その他」15.3%、「家庭教師・学習塾講師」6.5%となっています。

次に大学院生ですが、「販売・サービス」23.8%、「一般事務」19.0%、「家庭教師・学習塾講師」9.5%、「その他」42.9%でありました。

Q. アルバイトの職種は何ですか

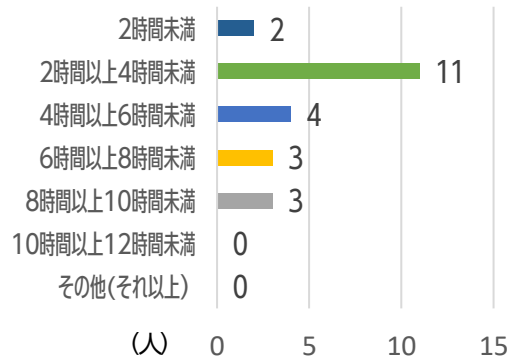
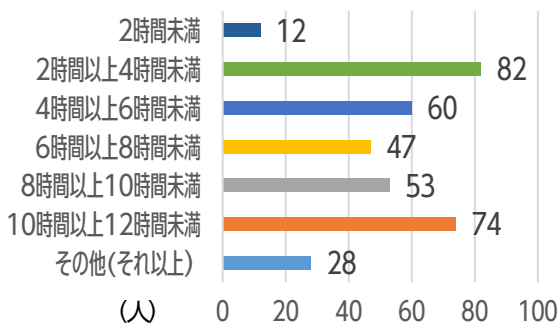


(4) 1週間の平均アルバイト時間 (夏期休業中を除く)

前回の調査と異なり、「2時間以上4時間未満」82人が最も多く、次いで「10時間以上12時間未満」74人、「4時間以上6時間未満」60人、「8時間以上10時間未満」53人となっています。前回よりも、アルバイト時間が長い学生が増えていることがうかがえます。

次に大学院生ですが、「2時間以上4時間未満」11人、「4時間以上6時間未満」4人、「6時間以上8時間未満」3人、「8時間以上10時間未満」3人でありました。

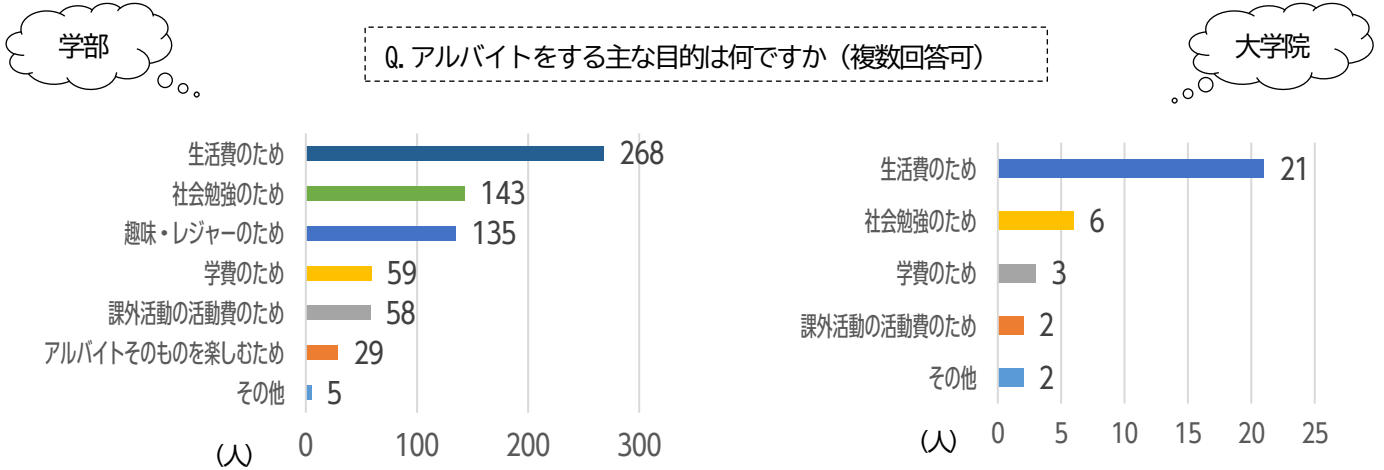
Q. 1週間に平均何時間くらいアルバイトをしますか (夏期休業期間中を除く)



(5) アルバイトの主な目的

前回の調査と同様に、「生活費のため」268人が最も多い結果となりました。次いで、「社会勉強のため」143人、「趣味・レジャーのため」135人となっています。また前回の調査と比較すると、「生活費のため」、「社会勉強のため」、「趣味・レジャーのため」、「学費のため」にアルバイトをする学生が増えていることがうかがえます。

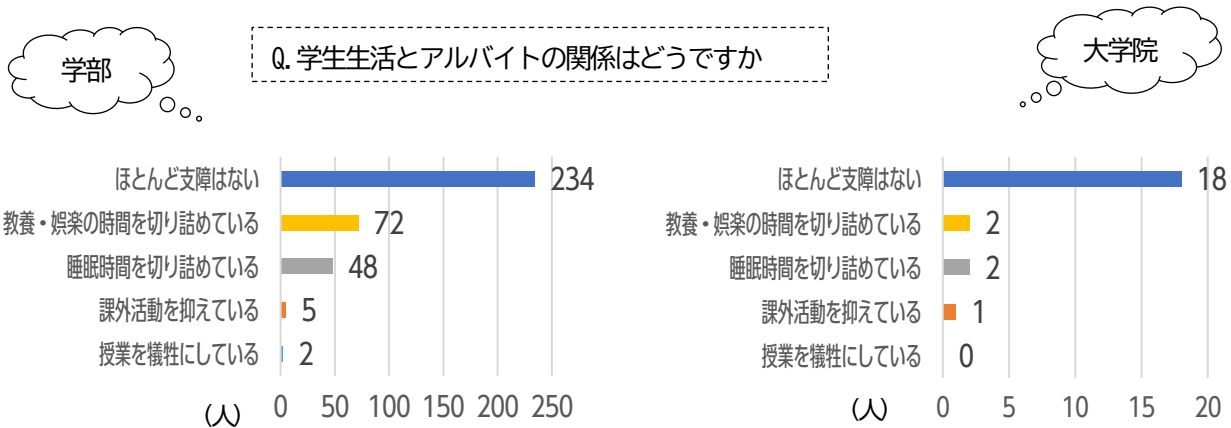
次に大学院生ですが、「生活費のため」21人、「社会勉強のため」6人、「学費のため」3人でありました。



(6) 学生生活とアルバイトとの関係

前回の調査と同様に、「ほとんど支障はない」234人が多数を占めています。しかしながら、前回の調査よりも、「教養・娯楽の時間を切り詰めている」72人、「睡眠時間を切り詰めている」48人で、これらの学生が増えていることから、学業や課外活動への影響が懸念されます。

次に大学院生ですが、「ほとんど支障はない」18人、「教養・娯楽の時間を切り詰めている」2人、「睡眠時間を切り詰めている」2人でありました。

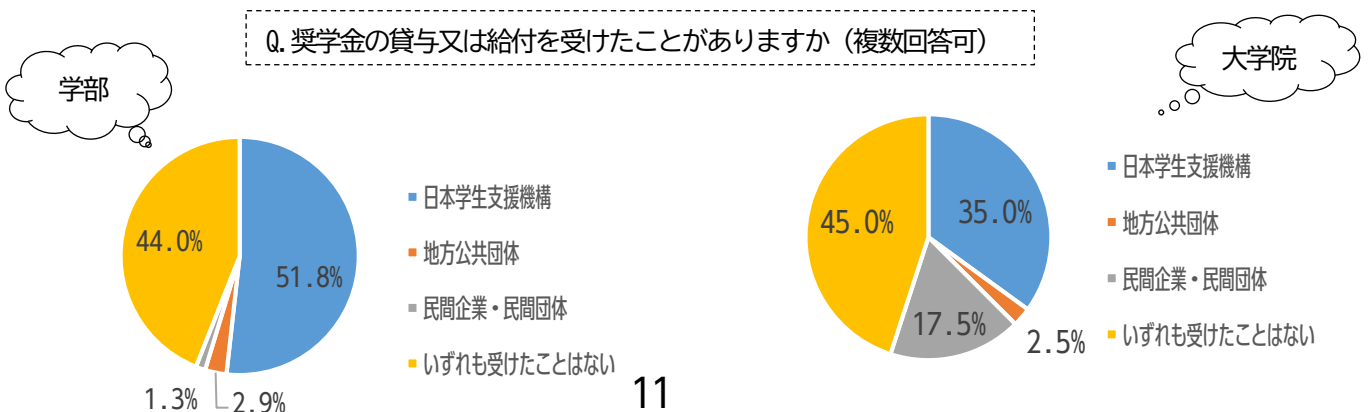


10. 奨学金

(1) 奨学金の支給貸与元

前回の調査と同様に、奨学金の貸与または給付を受けたことがある学生は、日本学生支援機構が51.8%でありました。その他の地方公共団体、民間企業・民間団体の奨学金を含めると、56%の学生が奨学金の貸与または給付を受けている結果となりました。

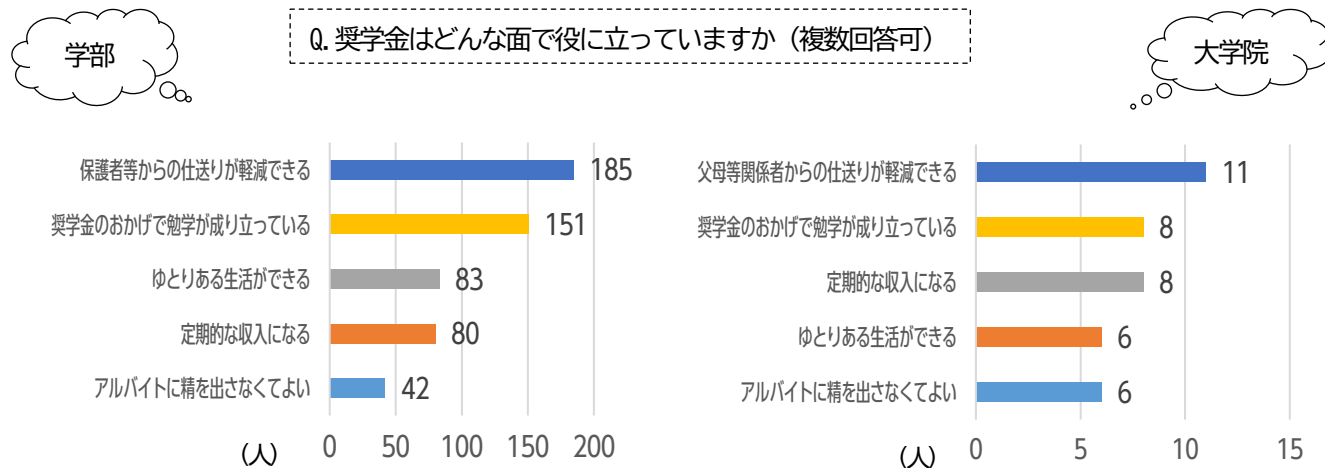
次に大学院生ですが、「日本学生支援機構」35%、「民間企業・民間団体」17.5%でありました。



(2) 奨学金の役に立っている点

前回の調査と同様に、「保護者からの仕送りが軽減できる」185人が最も多く、次いで「奨学金のおかげで勉強が成り立っている」151人、「ゆとりある生活ができる」83人、「定期的な収入になる」80人、「アルバイトに精を出さなくてよい」42人となっています。

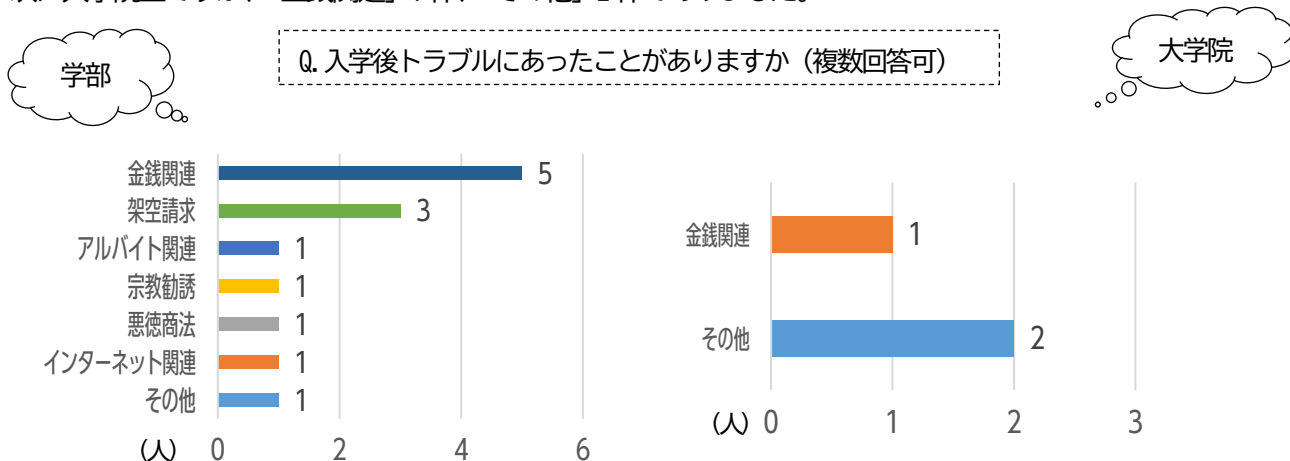
次に大学院生ですが、「保護者からの仕送りが軽減できる」11人、「奨学金のおかげで勉強が成り立っている」8人、「定期的な収入になる」8人、「ゆとりある生活ができる」6人、「アルバイトに精を出さなくてよい」6人でありました。



11. 入学後のトラブル

「金銭関連」5件、「架空請求」3件、「アルバイト関連」1件、「宗教勧誘」1件、「悪徳商法」1件、「インターネット関連」1件、「その他」1件の延べ13件となっています。予防や対処法の啓発活動を引き続き行っていく必要が考えられます。

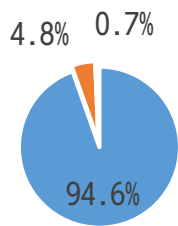
次に大学院生ですが、「金銭関連」1件、「その他」2件でありました。



Ⅲ 健康状態

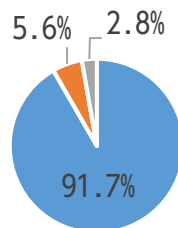
(1) 現在の健康状態

Q. 現在の健康状態はどうか？



学部

- 良好
- やや不調
- 不調

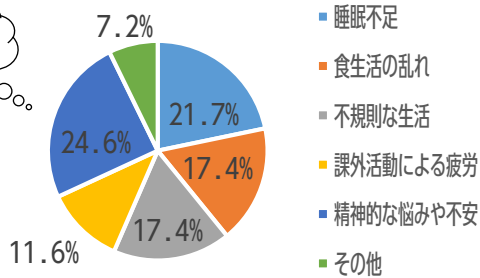


大学院

- 良好
- やや不調
- 不調

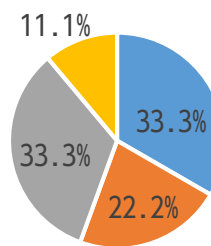
Q. 「やや不調」「不調」と答えた原因は何ですか（複数回答可）

学部



- 睡眠不足
- 食生活の乱れ
- 不規則な生活
- 課外活動による疲労
- 精神的な悩みや不安
- その他

大学院



- 睡眠不足
- 食生活の乱れ
- 不規則な生活
- 精神的な悩みや不安

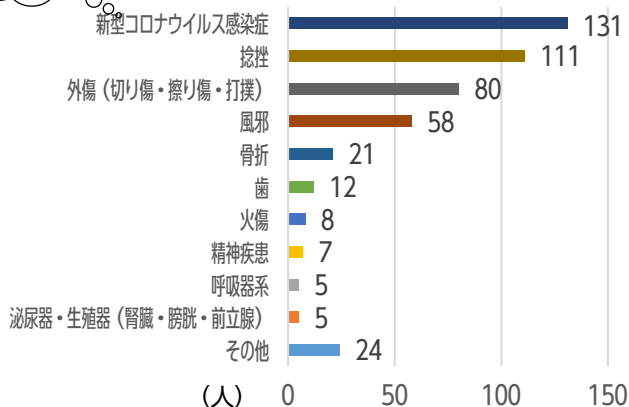
現在の健康状態について「良好」と答えた学生は、学部生が94.6%、大学院生が91.7%で、ほとんどの学生が健康状態は良いと感じているようです。一方で「やや不調」あるいは「不調」と答えた学生もいます。「やや不調」あるいは「不調」の原因として「精神的な悩みや不安」を挙げた人が学部生では最多の24.5%でした。一方、大学院生では11.1%と学部生の半分以上でした。大学院生の人数は少ないため学部生との比較には注意が必要ですが、この差には課外活動が関係しているかもしれません。あとで出てくる「あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか」という質問に対して、学部生では「課外活動」という答えが多く見られましたが、大学院生ではゼロであったことが理由です。本問への回答に学部生では「課外活動による疲労」が見られたものの、大学院生ではゼロであったことから伺えます。「睡眠不足」「食生活の乱れ」「不規則な生活」という答えは、学部生と大学院生に共通して多く見られる答えです。

(2) 今年度の病気・ケガの状況

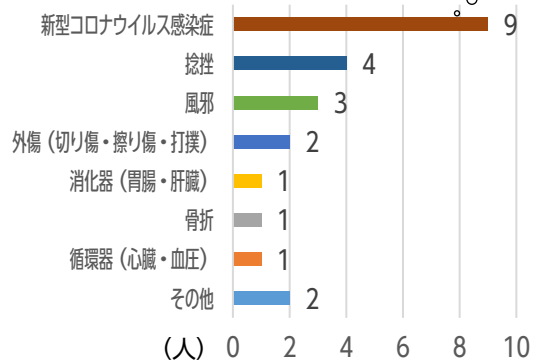
病気別の罹患人数では、新型コロナウイルス感染症が学部生、大学院生ともに最多でした。学部生で、前回最多の106名だった「風邪」は58名に減少していました。新型コロナウイルス流行のため、感染対策が行われていることが「風邪」減少の理由と考えられます。捻挫と外傷は昨年同様に多く見られます。運動中の事故には気をつけたいものです。

Q. 本年4月以降、病気・けがをしましたか（複数回答可）

学部



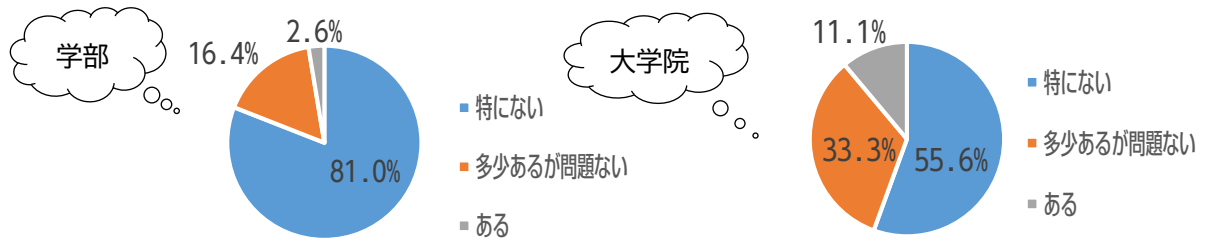
大学院



(3) 悩みや不安はありますか？

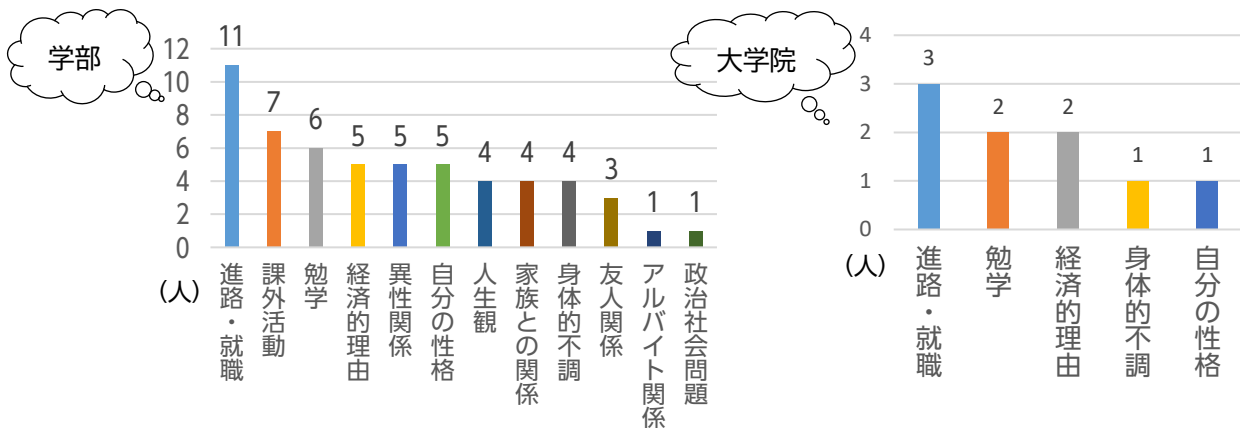
悩みや不安が「特にない」と答えた学部生は81.0%でした。これは昨年の67.1%から増えています。「ある」と答えた学部生は2.6%で、昨年の4.9%より減少しました。大学院生では「ある」と答えた人が11.1%で学部生よりも割合が高くなっています。

Q. 現在、悩みや不安はありますか



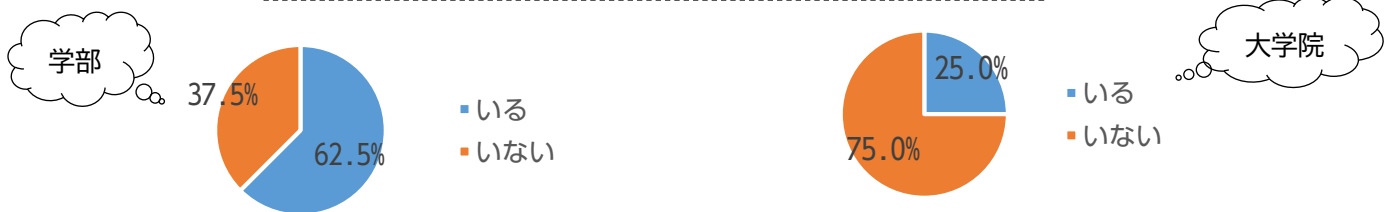
悩みや不安の原因としては「進路・就職」が学部生、大学院生ともに最多です。次いで学部生では「課外活動」、大学院生では「勉学」「経済的理由」が挙げられました。

Q. あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか



また、悩みを相談できる身近な人の存在に関して、学部生では、身近な相談相手が「いる」と答えた人は62.5%で、前回の57.1%と大きな変化はありませんでした。相談している相手は「友人・先輩」が最も多く、次いで「家族、親戚」「小クラス・ゼミ担当教員」でした。この傾向も前回の調査と同じです。大学院生では、身近な相談相手が「いる」と答えた人は25.0%で、学部生よりも少なくなりました。大学院生の人数が少なく、同級生が少ないことが理由かもしれません。

Q. あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか



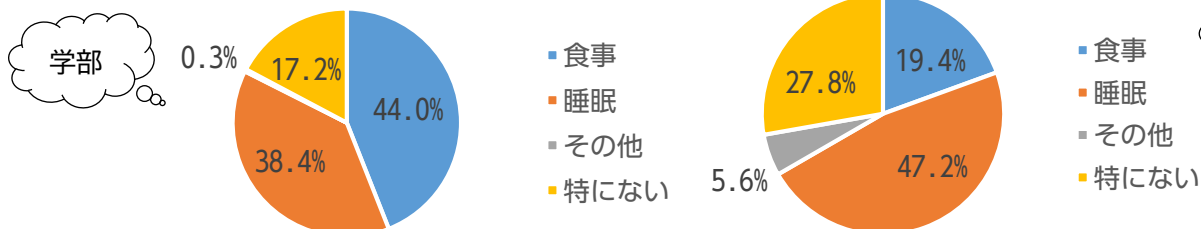
Q. どの人に相談しますか（複数回答可）



(4) 健康維持のためには

学生自身が健康維持のために意識して取り組んでいる内容は、食事(44.0%)と睡眠(38.4%)で約8割を占めていました。これは前回結果とほぼ同じです。大学院生では睡眠(47.2%)、食事(19.4%)の順でした。睡眠に関しては、学部生と大学院生ともに早め(22時以前)に就寝する者や25時以降から就寝する者と個人差が大きく、それに伴い起床時間も早い者と遅い者にパターン化される傾向でした。睡眠時間については、学部生と大学院生ともに6時間程度と答えた人が最も多いものの、4時間以下と答えた人も少数ありました。朝食や1限目の授業に遅刻しないためにも、早々に就寝できるように生活リズムを整える方が良いでしょう。

Q. 日頃健康上心がけていることはなんですか

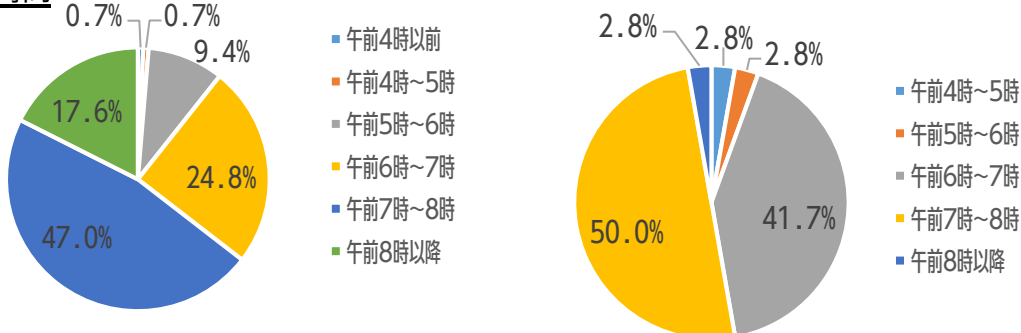


Q. 就寝・起床は何時ごろですか。また、平均睡眠時間はどれくらいですか。

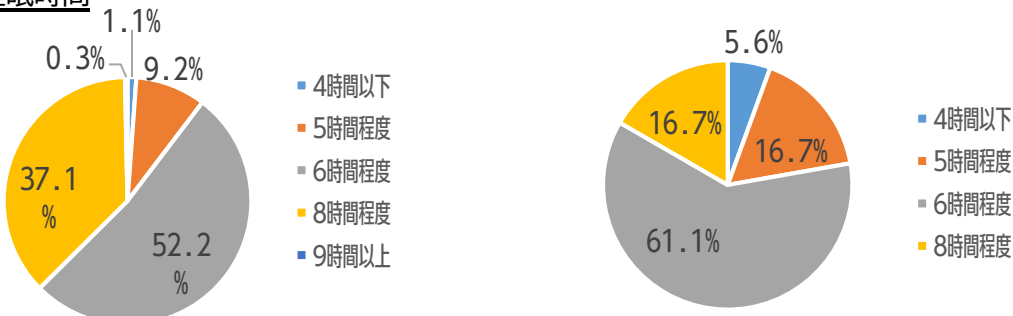
●就寝時間



●起床時間

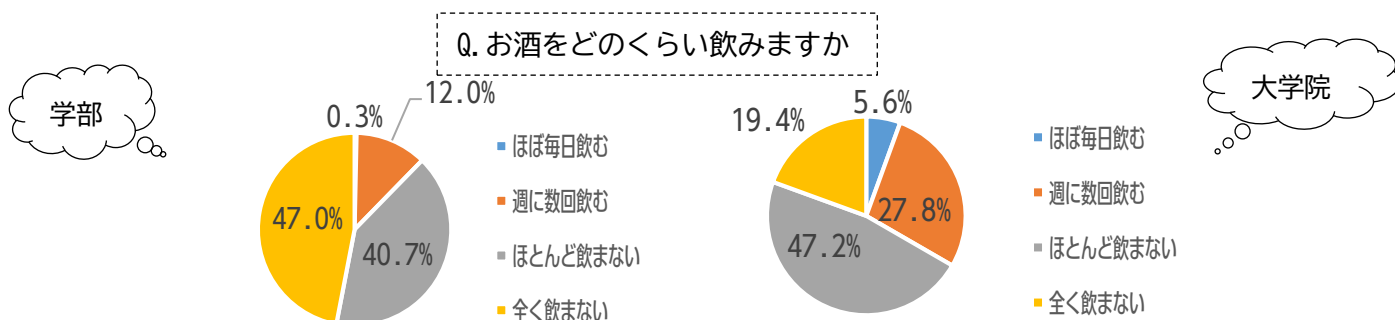


●平均睡眠時間

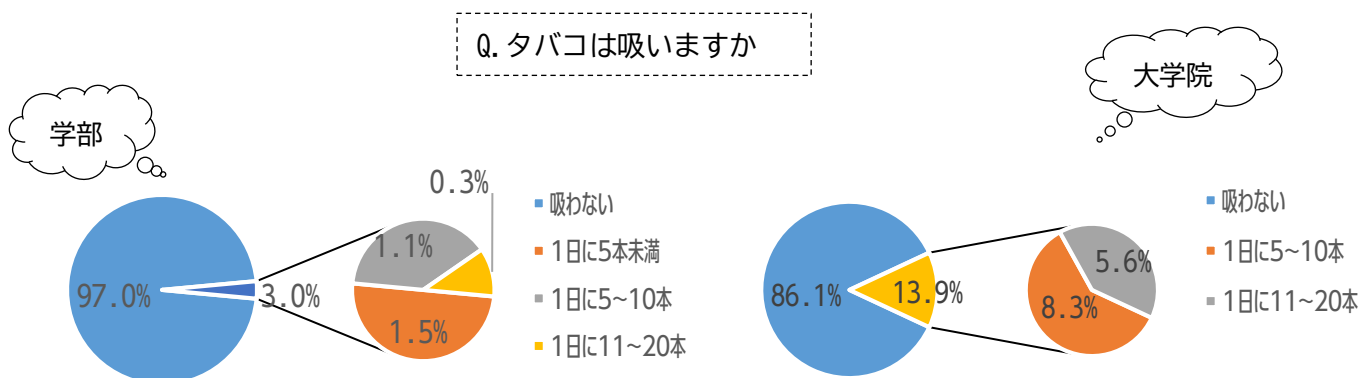


(5) 飲酒や喫煙

学部生では、お酒を飲む頻度は「ほとんど飲まない」と「全く飲まない」人を合わせて9割でした。「ほぼ毎日飲む」人はゼロです。この傾向は前回とほぼ同様でした。一方、大学院生では「ほぼ毎日飲む」人が5.6%あります。勉学や研究への取り組み、そして健康のためにも回数を減らすことが望ましいと感じます。



タバコは「吸わない」人が学部生で97.0%、大学院生では86.1%です。本数に個人差はありますが、残りの約3%と14%の人が喫煙者です。本数に関わらず健康には有害ですので、禁煙をお勧めしたいものです。大学敷地内も禁煙になっています。



IV. 課外活動の状況

1. 大学における課外活動の必要性

課外活動の必要性に関しては、体育大学の特性上、多くの学部生が必要であると考えているようです。

学生自身の競技と学問が結びついている側面もあり、前回の調査時と同様に9割を超える学生が必要と回答しています。ただし、ごく少数（約4%）の学生は、前回同様あまり必要でないと考えているようです。

大学院生に関しても、多くの学生が必要であると考えているようです。ただし、学部生に比べるとやや必要でないとする割合は増えています。

2. 活動状況

(1) 加入状況

調査時においては、回答した学部の学生のうち92.3%の学生が課外活動団体に所属しています。この割合は前回調査時（92.0%）と同様の割合となっています。体育大学の特性上、多くの学生が課外活動団体に所属している傾向がうかがえる結果となりました。また、4.1%の学生が課外活動団体から脱退している状況も見受けられました。

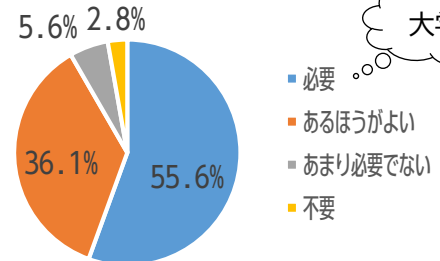
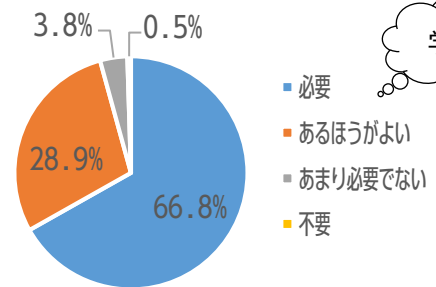
大学院生に関しては、4割の学生が課外活動団体に所属している状況でした。学部生より研究を主に取り組む学生が多くなることから、このような状況であると考えられます。

(2) 主な動機

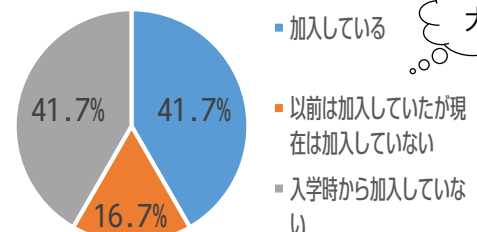
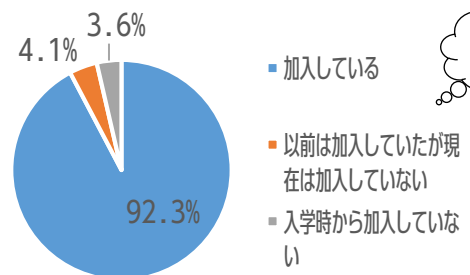
学部生が課外活動団体に加入している動機としては、前回と同様に「競技力向上を図るため」と回答した学生が多く見られました（463件）。また、前回同様に「自分の専門性を生かすため」との回答も多く見られました（300件）。以前と変わらず、学生自身の専門の競技への探求がうかがえる結果となっています。

大学院生においては、若干学部生とは異なり、「自分の専門性を生かすため」に課外活動団体に所属している者の割合が多く見られました。これは、学部生と比べ大学院生では競技力向上を目指す（より高いレベルの試合を目指す）活動を行う者が減るためだと考えられます。

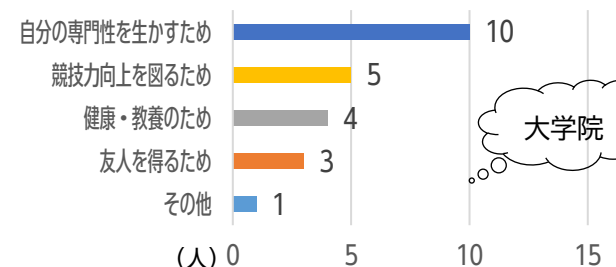
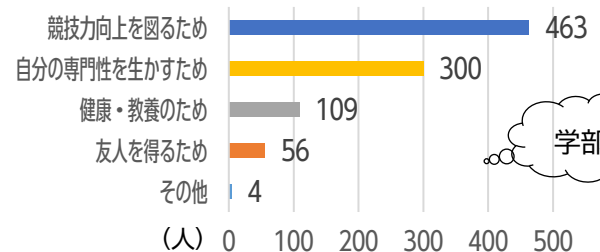
Q. 大学における課外活動をどう思いますか



Q. 課外活動に加入していますか



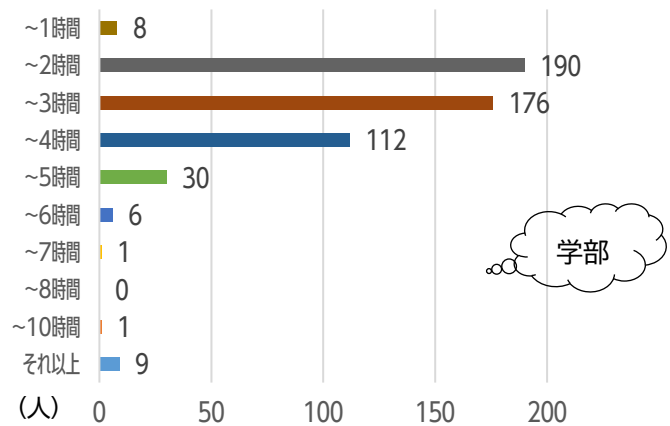
Q. 課外活動に加入した動機は何ですか（複数回答可）



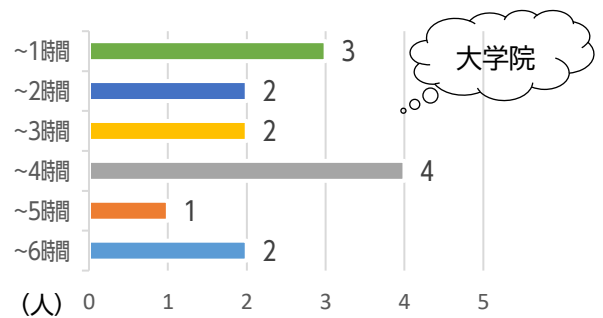
(3) 平均活動時間

学部生の課外活動実施日における1日の平均活動時間は、1時間以上から4時間以内が大半を占めています(約90%)。しかしながら、4時間以上の学生も一定数見受けられました。種目特性等(朝練があったりなど)で活動時間が多くなる種目もあるかと思えます。ただし、オーバーユースや正課との兼ね合いもあることから、効率よく活動していくことが大切だと考えられます。

Q. 1日あたり平均何時間くらい活動していますか
(遠征、試合等を除く)



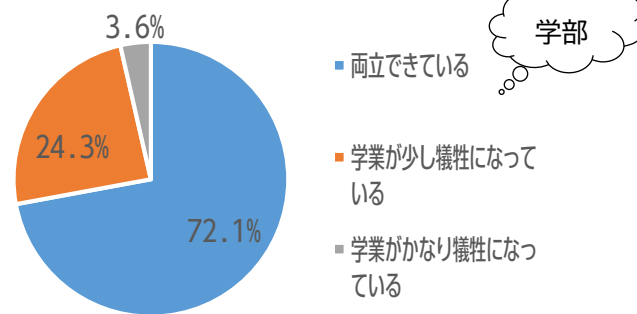
大学院生においては、4時間の割合が大きかったものの、1時間未満の割合が学部生よりも非常に大きくなっています。これは、研究活動が主の大学院生の特徴かもしれません。



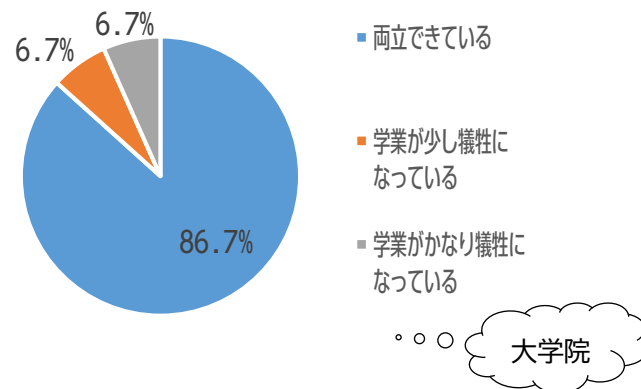
(4) 学業との両立

課外活動と学業の両立に関して、学部生の72.1%の学生が両立できていると回答していました。また、24.3%の学生が課外活動のため学業を少し犠牲にしていると回答していました。かなり犠牲にしていると回答した学生も含めると28%と、約4名に1名の割合で学業を犠牲にしている状況にあるようです。この割合は、前回調査時と変化ありませんでした。正課(学業)あつての課外活動でもあるため、学生・顧問教員含め対応を考える必要があるかもしれません。

Q. 課外活動と学業は両立できていますか



大学院生においては、大半(86.7%)の学生が両立できていると回答していました。これは、先述しているように、研究活動が主の大学院生の特徴であると考えられます。

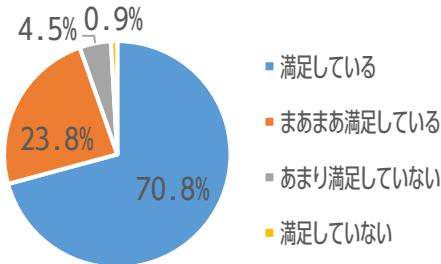


(5) 課外活動の満足度

回答した学部生のうち 70.8%の学生が課外活動に満足感を感じ、23.8%の学生がまあまあ満足感を感じている状況が見られました（合計約 94%）。多くの学生が満足感（充実感）を感じている反面、約 5%の学生があまり満足していないようです。全員が満足できる活動を行うことは困難ですが、少しでも学生自ら満足できる活動に転換できるよう工夫していく必要があるかもしれません。

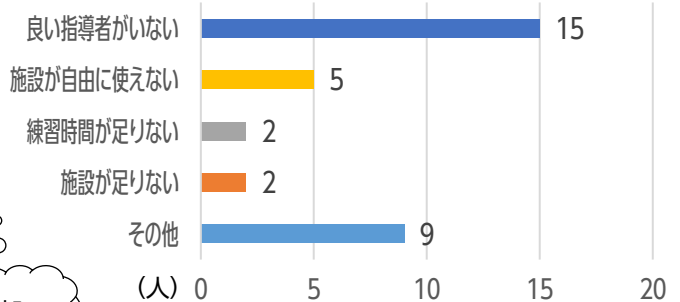
その中で満足していない理由としては、「良い指導者がいない」が最も多く、その他施設面に関する事項が目立っています。

Q. 課外活動に満足していますか



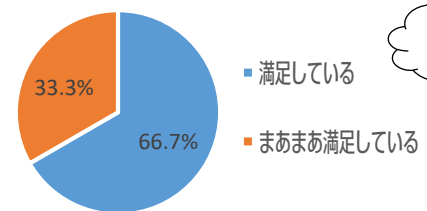
学部

Q. 「あまり満足していない」「満足していない」と答えた理由は何ですか



回答した大学院生のうち、全員が「満足している」か「まあまあ満足している」と回答していました。これは、本学の課外活動の状況を理解した中で、大学院生になっても本学で課外活動を続けていると考えられることから、それを反映している回答内容であると考えられます。

Q. 課外活動に満足していますか



大学院

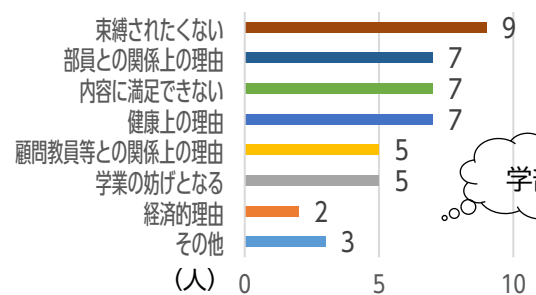
3. 課外活動団体への未加入の理由

(1) 途中で退部した理由

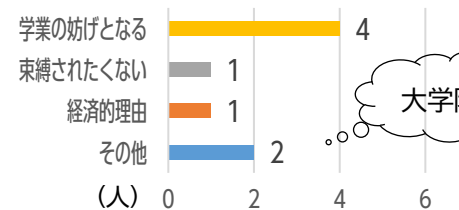
学部生のうち、以前加入していたが現在加入していない理由としては、「束縛されたくない」が最も多い理由でした。その他「部員との関係上」「内容に満足できない」「健康上」と続いています。多様な理由があることがうかがえます。

大学院生の以前加入していたが現在加入していない理由としては、「学業の妨げになる」からという理由が半数を占めました。先述しているように、大学院は学部よりも研究活動が主になることから、学業を優先させる傾向が、この項目でも見られたものと考えられます。

Q. 以前は加入していたが現在は加入していない理由は何ですか



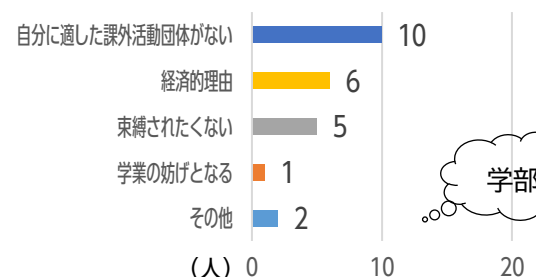
学部



大学院

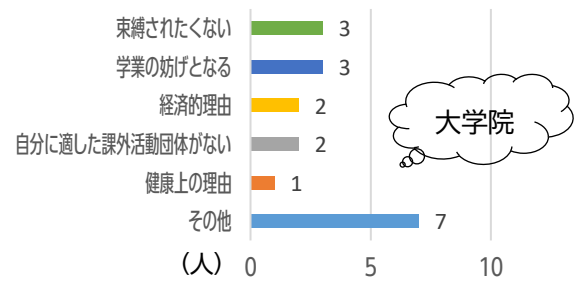
(2) 入学時から未加入の理由

学部生の課外活動への未加入の理由としては、「自分に適した課外活動団体がない」が前回より回答数を増やして最も多い理由となっています。以前より多様な学生の入学があるかもしれません。なお、前回最も多かった「束縛されたくない」は回答数が減っています。これは、コロナ禍で活動できなかった時期があったことによる影響ではないかと考えられます。



学部

大学院生の課外活動への未加入の理由としては、「束縛されたくない」「学業の妨げになる」からという理由が多いです。ここでも学業を優先させる傾向が見られます。



V 大学生生活の状況

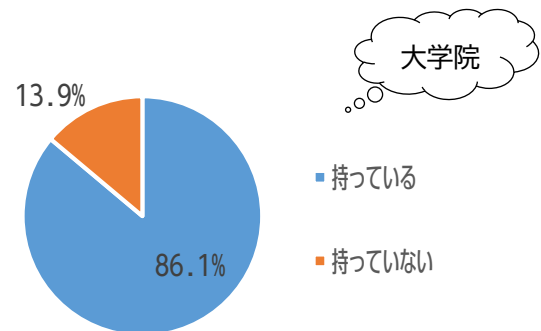
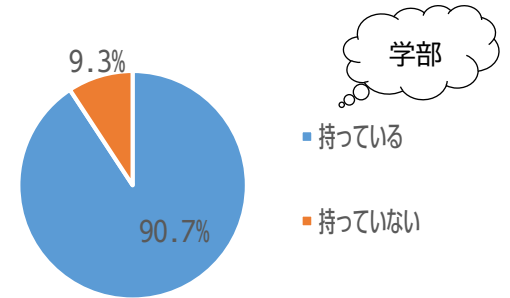
1. 大学生生活の充実度

(1) 鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか

学部生のうち、「誇りを持っている」と回答した学生が全90.7%を占めたことから、ほとんどの学生が本学に誇りを持っているといえます。この数値は、前回の92.3%と比較しても、ほぼ同等でありました。しかしながら、全体の回答数が昨年度より約40%近く増えている(438名→609名)ことを鑑みますと、誇りに思っていない学生も10%近く(56名)おり、絶対数では32名から56名へと約1.8倍へと誇りに思っていない学生が増加していました。この理由も含めて、今後留意していくべきことになるかもしれません。

大学院生については、「誇りを持っている」と回答した大学院生が全体の86%を占めていました。大学院生を対象にした調査は初回であること、対象人数も回答率も少ないため、数値だけから評価をすることは、無理がある点もありますが、学部生と比較すると、誇りに思う学生は減少していると言えます。大学院生となると、大学のブランド志向よりも、「研究内容≒鹿屋体育大学の研究者」が、本学大学院の専攻理由であることも、想像に難しくなく、大学そのものを誇りに思うかどうかは、大学院生にとっては別問題であるかもしれません。

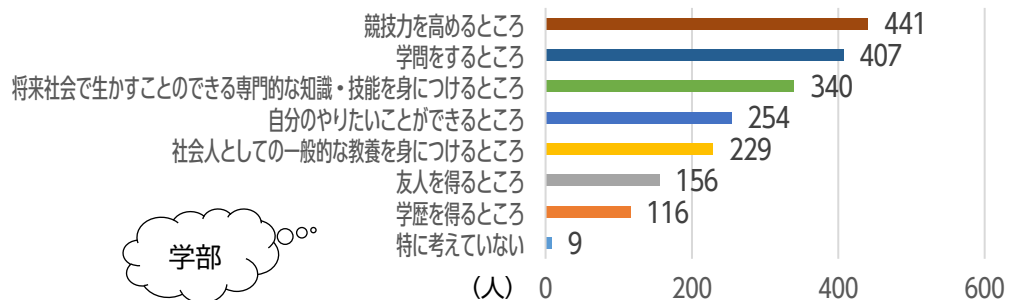
Q. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか



(2) あなたにとって、大学はどのようなところですか

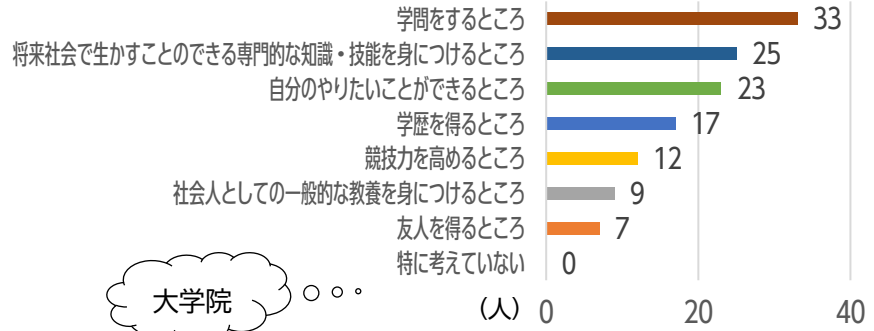
学部生について前回結果と比較しますと、各項目の順位、および全体傾向はほぼ同様な結果でした。回答数の増加も踏まえ、各項目の割合について、個別に検討してみると、「競技力を高めるところ」と回答した割合は、63.9%から72.4%へ増加し、「将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけるところ」、「自分のやりたいことができるところ」、「社会人としての一般的な教養を身につけるところ」、および「友人を得るところ」と回答した割合は、それぞれ約5%、5%、10%、および5%ほど低下しています。これらの結果は、課外活動を重視する学生の割合が増えていることを意味すると同時に、社会に出るための準備に対する意識が少し低下していることを意味しているかもしれません。現在の大学生生活の充実さだけでなく、将来を見越したバランスの取れた学生生活を送るような教育的配慮が今後は必要になるかもしれません。

Q. あなたにとって、大学はどのようなところですか(複数回答可)



大学院生は、「学問」、「専門的な知識や技能」、「やりたいことができるところ」が上位を占めています。また、「学歴を得るところ」という、やや現実的な回答も目立ちました。一方、依然「競技力を高めるところ」と回答した大学院生も12名いたことから、「研究内容」を「競技力向上」に結びつけようと考えている学生が一定数いる可能性が推測されます。このことは、同時に「研究活動」と「課外活動」の両立の重要性を意味しています。また、「特に考えてない」と回答した学生がゼロであったことは、明確な目的なしに、大学院へ進学する学生がいないことを意味しています。

Q. あなたにとって、大学はどのようなところですか（複数回答可）



大学院

(3) 学生生活の中心になっていること、およびその充実度

学部生にとって学生生活の中心になっていることは、前回調査と同様課外活動と学業で全体の約90%を占めています。両者の割合は学業、または課外活動がそれぞれ約4%程度増加、または減少しています。このことは、学生生活の中心が学業、または課外活動であることに変わりはないものの、割合としても絶対数としても学業が学生生活の中心になっている学生が増えていること（16.1%→19.7%、67名→119名）を示しています。

今後、課外活動を入学当初から行わない、あるいは途中でやめる学生に対しても、学生生活の中心となる場のさらなる充実化の必要性を意味していると考えられます。

学部生の充実度は「かなり充実している」と「どちらかといえば充実している」の総計割合が、前回同様の約95%であり、かつ「かなり充実している」と回答した学生の割合は約5%増加（実数117名増加）しており、比較的良好な結果といえるでしょう。

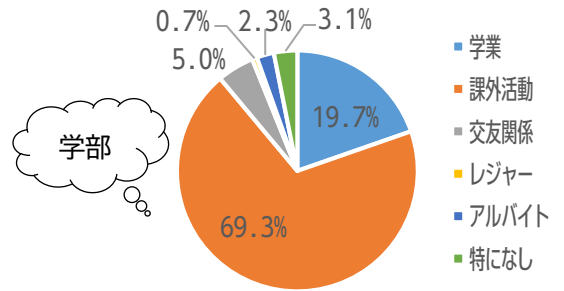
大学院生にとって学生生活の中心になっていることは、「学業」が78%を占めています。また、8%（3名）の大学院生が「仕事」と回答しており、これは働きながら在籍する社会人大学院生が一定数在籍していることを示しています。前問同様、「課外活動」が大学院生生活の中心になっている院生（14%＝5名）に対しては、「研究」との両立を常に念頭において、教育・研究指導していく必要があるといえます。

大学院

大学院生の充実度は「かなり充実している」と「どちらかといえば充実している」の総計割合が94%であり、比較的良好な結果といえるでしょう。一方、明確な目的を持って進学したと考えられるにも関わらず（前問：特に何も考えてない人はゼロであったため）、あまり充実していない大学院生も6%（2名）いました。ある意味、学部生以上に個別指導・対応が必要になることもあり、今後この割合が増えるようであれば、対応策の検討が必要でしょう。

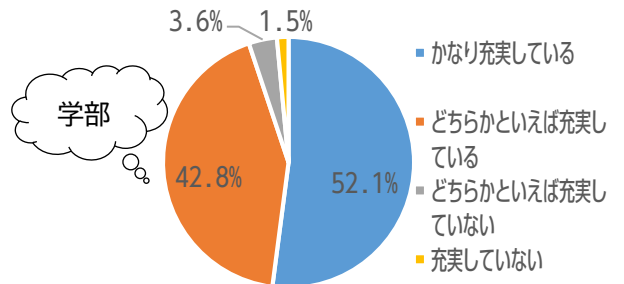
大学院

Q. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか



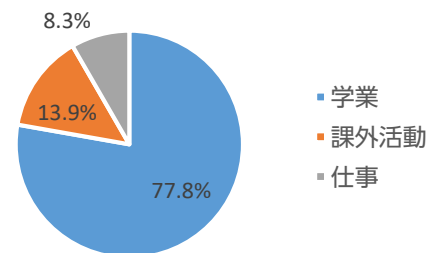
学部

Q. 現在の学生生活は充実していますか

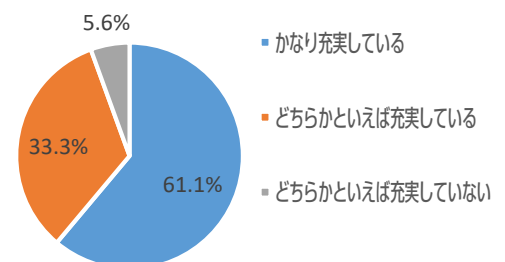


学部

Q. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか



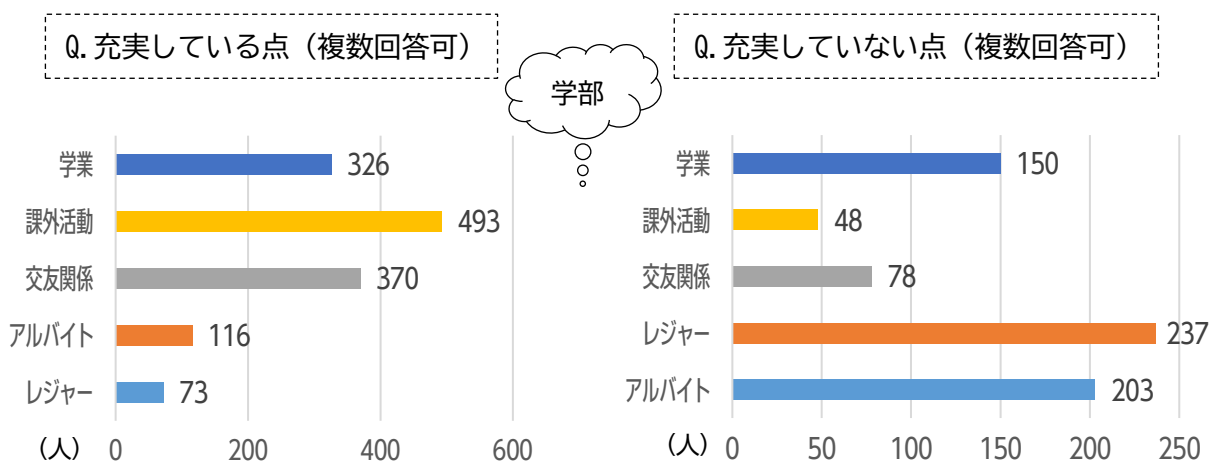
Q. 現在の学生生活は充実していますか



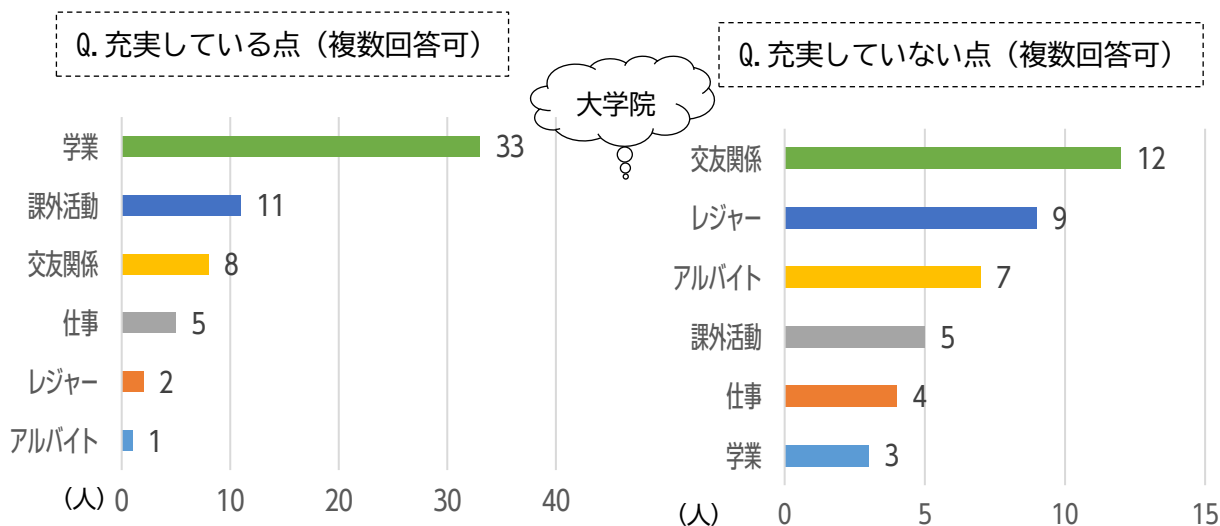
(4) 充実している点、および充実していない点

学部生で具体的に充実している点については、すべての項目で前回の比率を下回っていました。(学業 78.5%→53.5%、課外活動 86.1%→81.0%、交友関係 85.2%→60.8%、アルバイト 41.6%→19.0%、およびアルバイト 43.2%→12.0%)。この項目は複数回答であるため、割合の低下を一概に充実している点が減少したとは考えにくいといえます。推測ではありますが、学生1人1人が取り組んでいる活動が専念化されていっており、結果として今回の調査における各項目の絶対数が減少し、そのことが各項目における全体に対する比率の低下につながったといえるかもしれません。

充実していない点として「学業」を挙げている学生の実数・割合とも増加している点(70名→150名、16.0%→24.6%)は、気になる回答結果といえます。設問38で学生生活の中心が「学業」であると回答した学生が増えている(16.1%→19.7%、71名→119名)ことを鑑みますと、学業においても学生が充実感を得られるような教育の展開が必要といえます。ただし、学生生活活動は、どのような種類のものであれ、学生自身がかなりの部分主体的に取り組むべきことでもあるため、一概に教育提供力の低下とは結論づけられず、どのような点で充実していないのか、今後詳細な検討が必要でしょう。



大学院生について、本設問は複数回答ですが、回答者36名のうち33名(92%)が学業における充実さを評価しています。このことは、総じて本学大学院における教育・研究指導が良好であることを示しています。一方、充実していない点としては、「交友関係」、「レジャー」、および「アルバイト」が上位3項目に位置していました。あくまでも推測ですが、時間的な余裕がなく、そもそもこれらの活動に時間を割く余裕がなく、結果として「充実していない点」として上位項目に挙げてきた可能性があります。しかしながら、研究生活(大学院生活)において、交友関係が希薄になってしまうことや、ゆとりを全く持たなくなってしまう(レジャーなどをする余裕が時間的にも精神的にもない)ことは、研究生活そのものにも悪影響をもたらすリスクもあるため、引き続き詳細な検討や個別対応などの留意が必要になってくるかもしれません。



2. ボランティア活動

(1) ボランティア活動について

学部生のうちボランティア活動の経験のある学生（現在している、または以前したことがある）は、前回と比較して回答数が増えているため、割合としては、3名に1名が経験していた前回に対し、今回は4名に1名が経験あり、と経験率は低下していました。これに伴い、「現在していない」学生の割合・実数とも増加しており、「将来的にはしてみたい」学生の割合は変わらず、実数は増えていました（78名→113名）。すなわち、参画しない理由（後述）により評価は、分かれると思われませんが、全体としてボランティア活動離れが進んでいるといえるかもしれません。

ボランティア活動の経験のある大学院生（現在している、または以前したことがある）は、総回答数は少ないものの、50%（18名）と半数の大学院生がボランティア活動を経験していました。これは推測ですが、大学4年間、あるいは社会人経験も含めた人生経験の長さとも無関係ではないと思います。一方、現在ボランティア活動をしていない学生も47%おり、「以前したことがある」、「将来的にはしてみたい（≠いずれも現在はしていない、と仮定できます）」と併せると、全体の86%が現在ボランティア活動をしておらず、全体としてボランティア活動離れが進んでいるといえます。

(2) ボランティア活動の内容

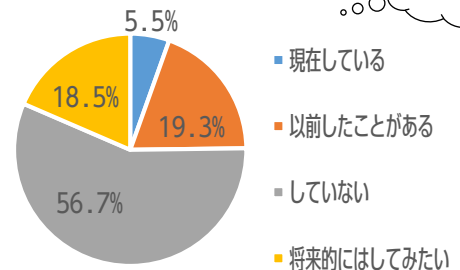
学部生のボランティア活動内容については、前回同様の結果と言えます。すなわち、「学校等でのスポーツ指導」が、最も多く、次いで、「環境美化活動」、「災害復興支援」と続いていました。体育大学生ならではの需要と社会が求めていると思われる需要が上位にきています。しかしながら、前回同様第一位であった「学校等でのスポーツ指導」へのボランティア活動は、78名から64名へ、17.8%から10.5%へと減少しています。その他の選択肢の実数、割合はほぼ不変であることから、スポーツ指導へのボランティア活動減少分が、前問における、全体としてのボランティア活動参画割合・実数の減少の一要因かもしれません。

また自由回答における活動内容について具体的には、「Jリーグの試合運営、スポーツイベントの企画・運営、プロスポーツの運営、競技補助の手伝い、自然の家でのボランティア活動、児童関係、地域の自転車イベント、子供向けのイベント、法人ボランティア、幼児巡回指導」が挙げられていました。

大学院生のボランティア活動内容については、学部生同様、「学校等でのスポーツ指導」が、最も多い回答でした。特徴的なこととして「高齢者に係る活動」が7名、「国際交流活動」が3名いた点です。あくまでも推測ですが、研究内容に関連していること（例えば、高齢者の健康問題に関する研究等）や、将来的なビジョン（留学希望等）から、このような活動内容が出現してきたのかもしれません。

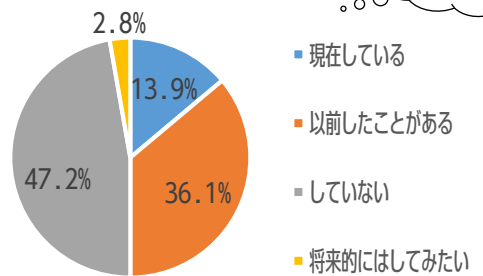
自由回答において、現在、または経験のあるボランティア活動として、オリンピックボランティアが挙げられていました。

Q. ボランティア活動をしていますか



学部

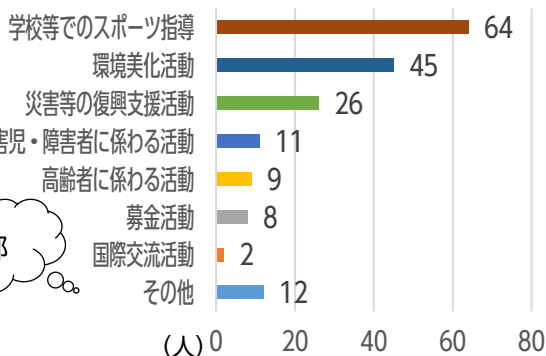
- 現在している
- 以前したことがある
- していない
- 将来的にはしてみたい



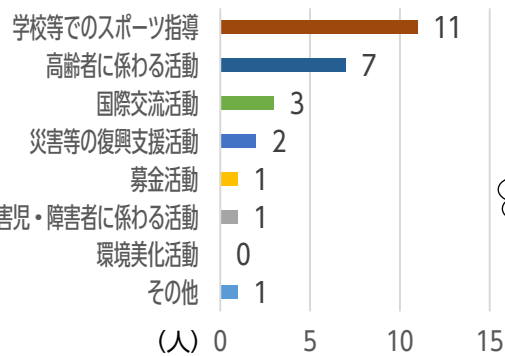
大学院

- 現在している
- 以前したことがある
- していない
- 将来的にはしてみたい

Q. ボランティア活動の内容はどれですか（複数回答可）



学部



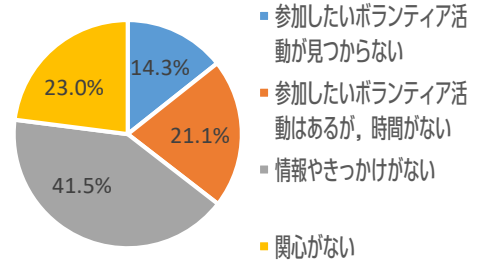
大学院

(3) ボランティアに参加しない理由

学部生のうちボランティアに「関心がない人」の割合は、前回とほぼ同等でしたが、実数では67名から125名に増加しており、ボランティア活動への意識高揚は減少しているといえます。その他の理由として特徴的なことは、「参加したい内容が見つからない」学生の割合・実数とも増加していました。この理由としては、学生が公共性の高いはずのボランティア活動の内容に対して選り好みをしている可能性があるのかもしれません。

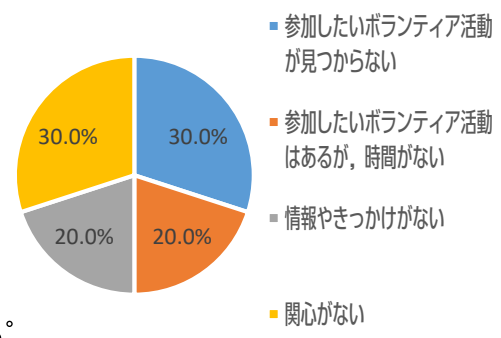
学部

Q. ボランティア活動に参加していない主な理由は何ですか（複数回答可）



大学院生がボランティアに参加しない理由としては、「関心がない」が30%を占めており、学部生よりも高い割合を占めていました。回答者数が大きく異なるため、直接的な比較は困難かもしれませんが、やはり「学問」、「専門的知識や技能」、「やりたいところ」を主目的として進学した大学院生が上位を占めていたことから（前掲Q：あなたにとって大学はどのようなところですか）、当然の結果といえるかもしれません。別の見方をすれば、大学院生の眼前にある興味・関心のある学問や研究内容と、例えば鹿屋市近隣の公共性の高い事業（ボランティア活動）は、まったくの別物であるということかもしれません。

大学院



3. 海外留学

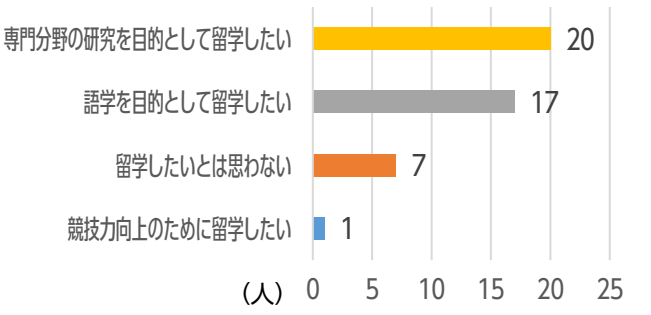
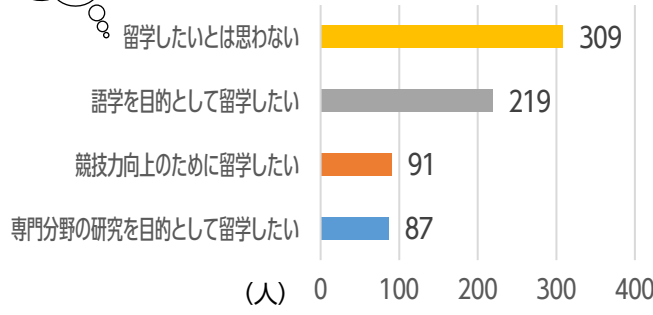
学部生については、「留学したいとは思わない」人の実数・割合とも前回より大きく増加しています（182名→309名、41.6%→50.7%）。この理由は不明ですが、前回調査が3年前（2019年）であったことから、ここ2~3年でコロナウィルスの感染拡大が世界的に広まったことと無関係ではないと考えられます。その一方、語学習得・競技力向上・専門分野の研究など、明確な目的を持っている学生の留学希望者の実数・割合はわずかではありますが、増加傾向にありました。今後、このような学生へのサポート体制も充実させる必要があるといえます。

大学院生は約半数が、「専門分野の研究目的」、または「語学習得の目的」のために、留学したいと考えており、コロナ渦にも関わらず大学院生の向上心が伺えます。ここで「専門分野の研究目的」のための留学には、質の高い「修士論文」や「博士論文」、そして「国際学術雑誌」への論文掲載が求められます。したがって大学院生の希望実現のためには、本学教員による教育・研究指導能力が、今後大きな役割を担ってくるといえることになるでしょう。

学部

Q. 海外留学についてどう思いますか（複数回答可）

大学院

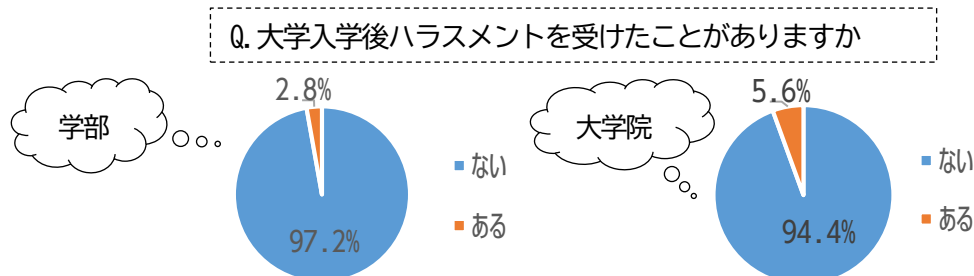


VI ハラスメント

1. ハラスメントの状況

学部生については、3.0%（17名）の学生が「ハラスメントを受けたことがある」と回答し、前回の6.3%（27名）と比べ、被害を受けた学生の割合は半減しました。

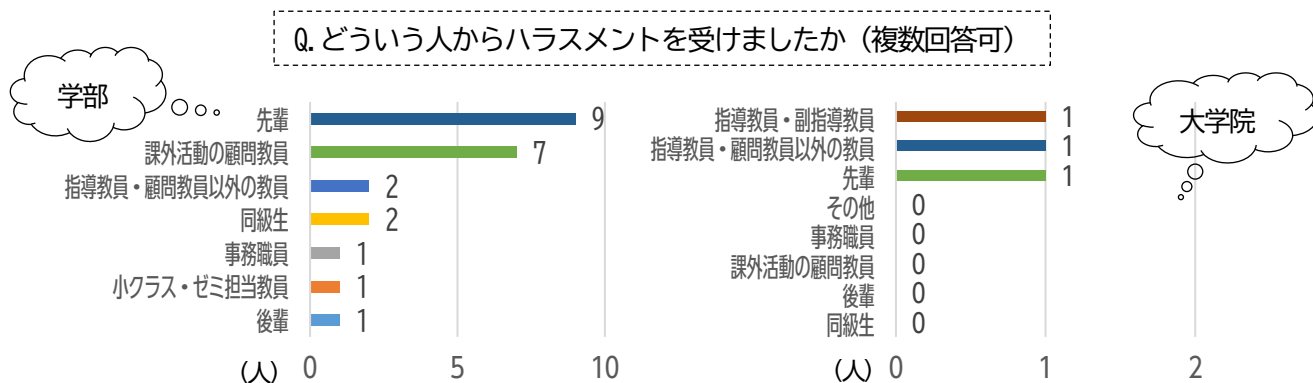
また、5.6%の大学院生が「ハラスメントを受けたことがある」と回答しています。



2. 先輩、顧問教員からが多い

学部生がハラスメントを受けた相手については、「先輩」が9名、「課外活動の顧問教員」が7名、「指導教員・顧問教員以外の教員」と「同級生」が2名、「事務職員」「小クラス・ゼミ担当教員」「後輩」が各1名となっていました。

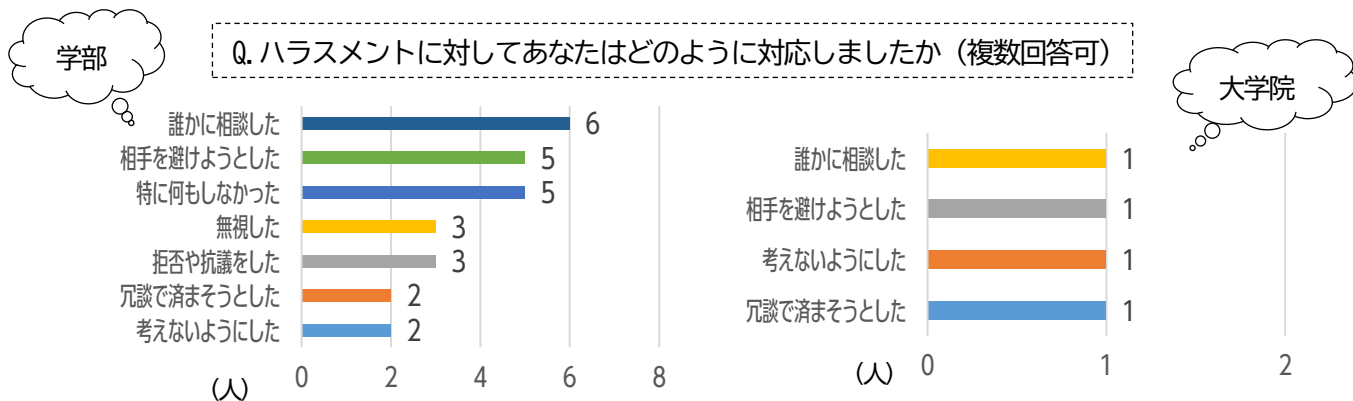
大学院生がハラスメントを受けた相手については、「指導教員・顧問教員以外の教員」「指導教員・顧問教員以外の教員」「先輩」が各1名となっていました。



3. ハラスメントへの対応

学部生については、ハラスメントへの対応として、「誰かに相談した」が6名、「相手を避けようとした」と「特に何もしなかった」が5名、「無視した」と「拒否や抗議をした」が3名、「冗談で済まそうとした」と「考えないようにした」が2名となっていました。

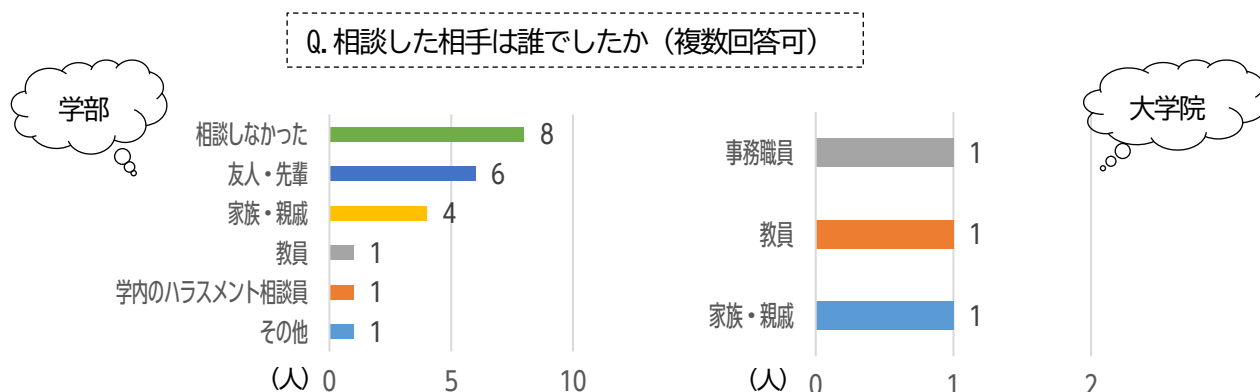
大学院生については、ハラスメントへの対応として、「誰かに相談した」「相手を避けようとした」「考えないようにした」「冗談で済まそうとした」「特に何もしなかった」が各1名となっていました。



4. 相談相手は友人や先輩、家族

学部生の相談相手については、「相談しなかった」が8名、「友人・先輩」が6名、「家族・親戚」が4名、「教員」「学内のハラスメント相談員」「その他」が各1名となっていました。

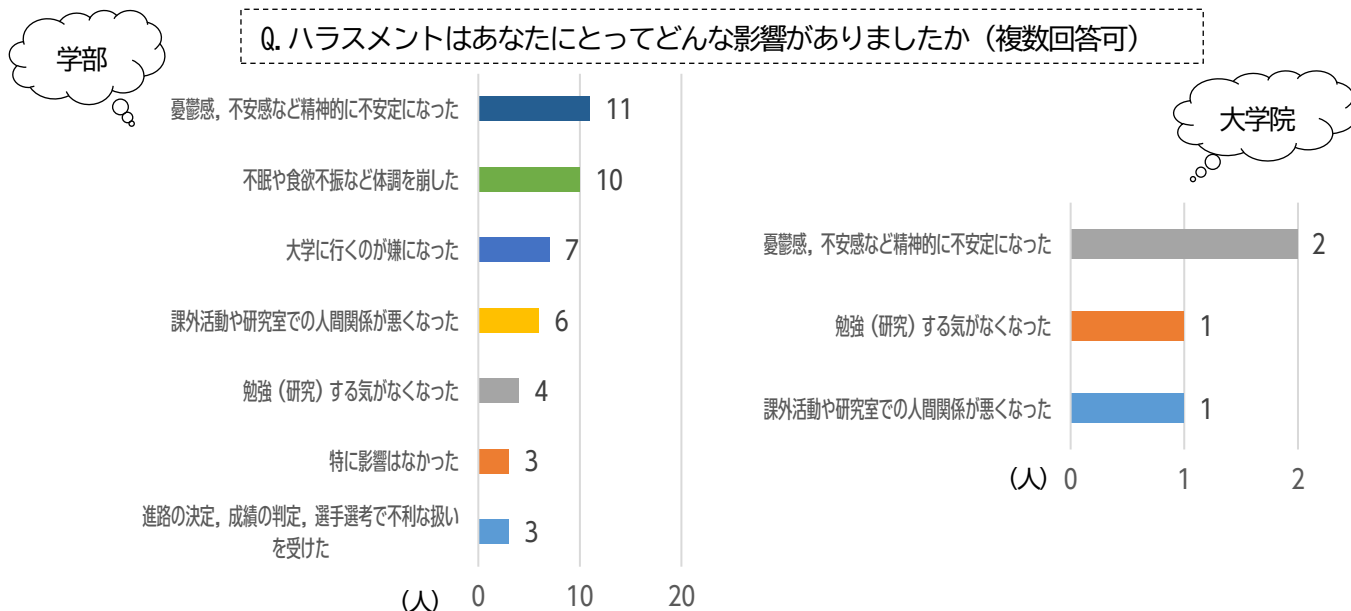
大学院生の相談相手については、「事務職員」「教員」「家族・親戚」が各1名となっていました。「相談しなかった」が0名となっており、誰かしらには相談できていたことがわかります。



5. ハラスメントの影響

学部生におけるハラスメントの影響については、「憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった」が11名、「不眠や食欲不振など体調を崩した」が10名、「大学に行くのが嫌になった」が7名、「課外活動や研究室での人間関係が悪くなった」が6名、「勉強（研究）する気がなくなった」が4名、「特に影響はなかった」と「進路の決定、成績の判定、選手選考で不利な扱いを受けた」が3名となっています。ハラスメントを受けた学生のほとんどが、何らかの悪影響を被っていることがわかりました。これらの悪影響が無くなるような対応が求められています。

大学院生におけるハラスメントの影響については、「憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった」が2名、「勉強（研究）する気がなくなった」「課外活動や研究室での人間関係が悪くなった」が各1名となっています。



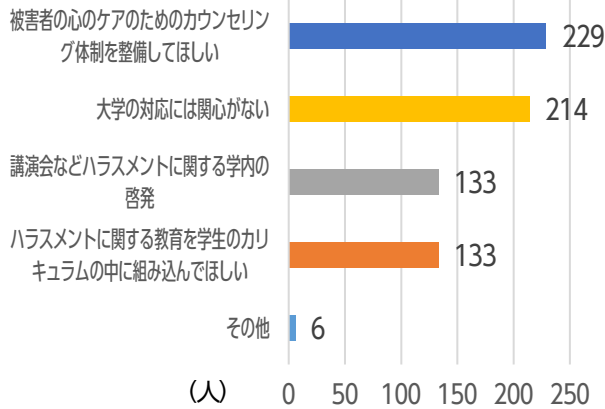
6. 大学にとってほしい対応と相談窓口

学部生が大学にとってほしい対応については、「被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい」が229名、「大学の対応には関心がない」が214名、「講演会などハラスメントに関する学内の啓発」と「ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい」が133名となっています。

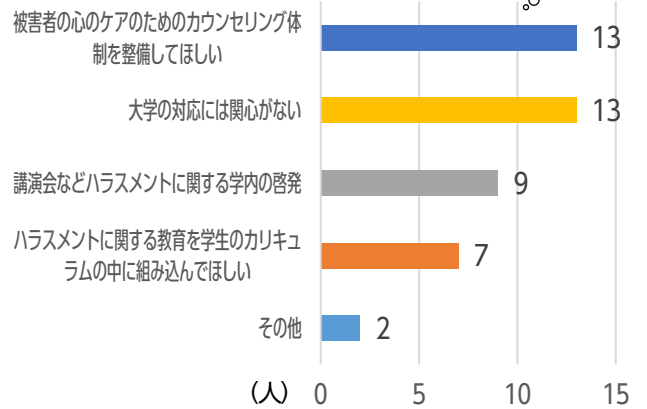
大学院生が大学にとってほしい対応については、「被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい」「大学の対応には関心がない」が各13名、「講演会などハラスメントに関する学内の啓発」が9名、「ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい」が7名となっています。

Q. ハラスメント問題について、大学にどのような対応をとって欲しいですか（複数回答可）

学部



大学院

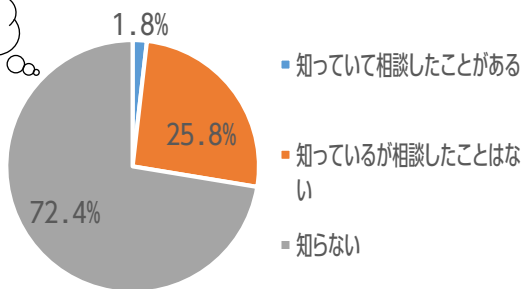


ハラスメント相談窓口については、学部生では「知らない」が最も多く 72.4%、「知っているが相談したことはない」が 25.8%、「知っているが相談したことがある」が 1.8%でした。前回と比較すると、「知らない」が 63.8%から 72.4%に増加しており、相談窓口についての周知に課題があるかもしれません。

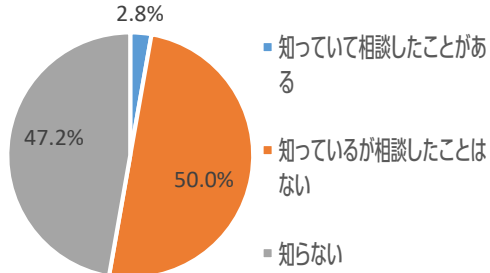
大学院生については、「知っているが相談したことはない」が最も多く 50.0%、次いで「知らない」が 47.2%、「知っているが相談したことがある」が 2.8%でした。

Q. 本学にハラスメント相談窓口があり、ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか

学部



大学院



Ⅶ 学内施設利用状況

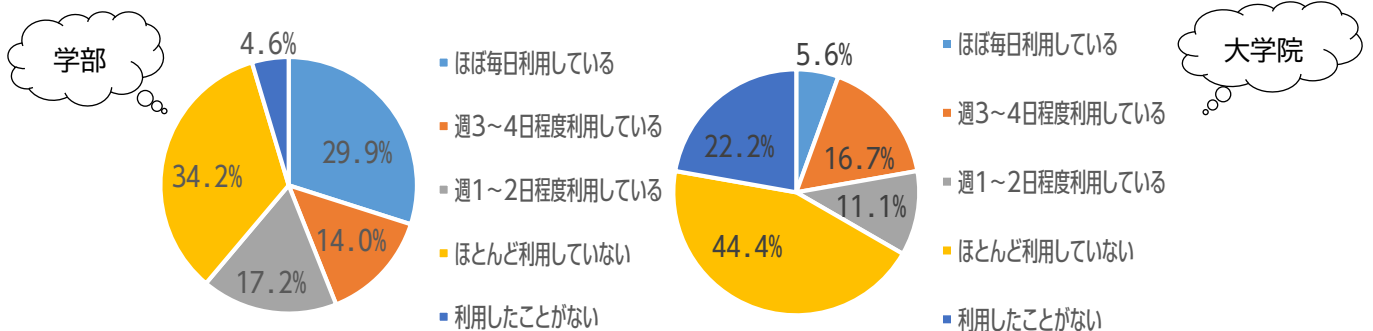
1. 食堂

(1) 学生食堂の利用状況は？

学部生については、「学生食堂をどれくらい利用していますか？」という質問に対し、29.9%が「ほぼ毎日」と回答しており、前回調査から大幅に減少しています。「週3日程度」を合わせても43.9%となり、前回調査の65.5%（「ほぼ毎日」と「週に3日程度」）を大きく下回る結果でした。また、今回一番多かった回答は「ほとんど利用していない」でした。

大学院生については、学部生よりも利用頻度が少なくなっているようです。

Q. 学生食堂をどのくらい利用していますか



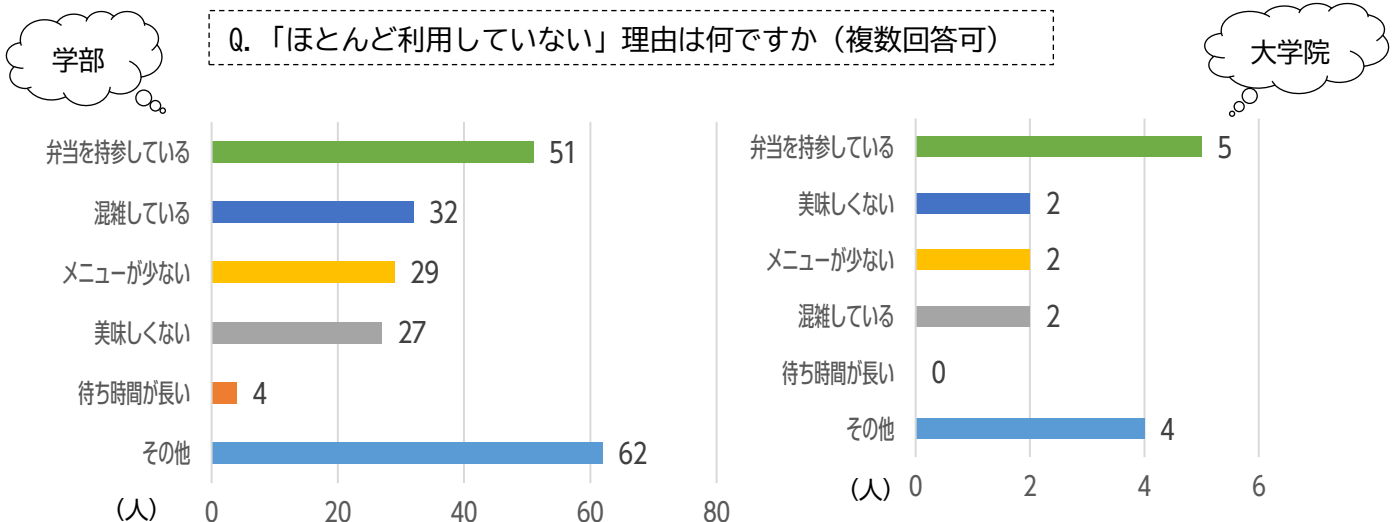
(2) 学生食堂を利用しない理由は？

今回調査の最多となった「ほとんど利用していない」と回答した34.2%の方々に理由を聞くと、「弁当を持参している」との回答が51人からあり、前回の47人を上回る結果でした。また、前回最多の回答だった「混雑している」については32人であり、前回調査時の61人から大きく減少しました、併せて「待ち時間が長い」という回答も前回調査時17人から今回4人と減少しました。

また、今回はその他の回答において、「リモートで大学に行かない」「お昼に大学にいない」という回答も見られ、新型コロナウイルス感染症による授業形態変化が影響している様子がうかがえました。また、家で食べる、自炊しているという理由も多数ありました。この弁当持参・自炊の傾向は近年増加しており、生活費の節約などの理由も背景にあると考えられます。

大学院生についても「弁当を持参している」が最も多い結果でした。また、大学院生は、「鹿屋に住んでいないために利用しない」「忙しくて時間がない」という理由も見られました。

Q. 「ほとんど利用していない」理由は何ですか（複数回答可）

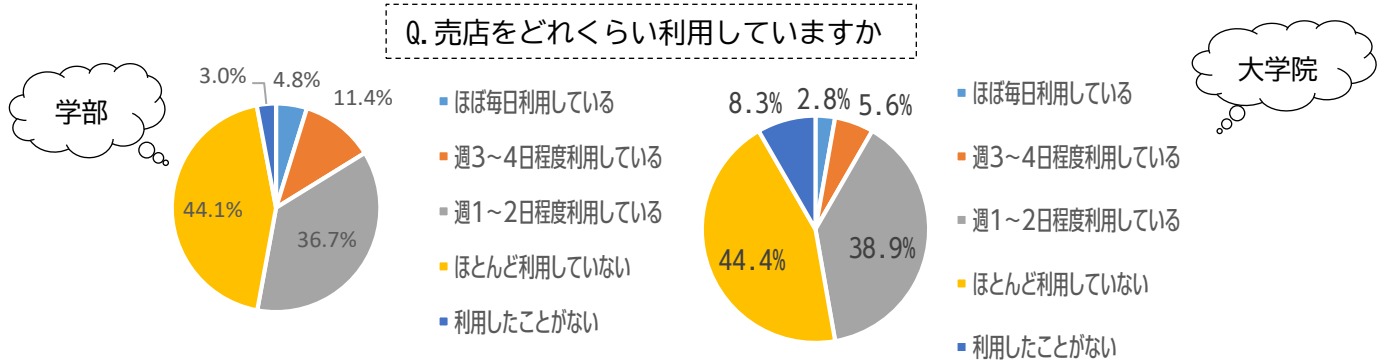


2. 売店

(1) 売店をどれくらい利用していますか？

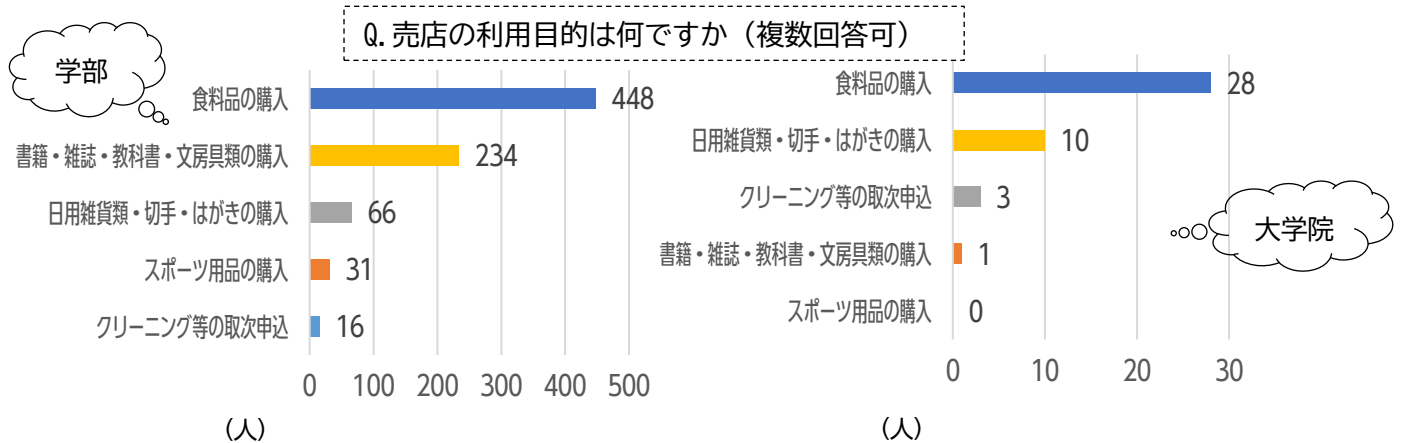
売店の利用については、前回調査から大きく変わり、「ほぼ毎日利用している」「週3～4日程度利用している」という回答が、前回調査時の57%から今回は16.2%と大きく減少しました。

大学院生は学部生よりもさらに利用頻度が低く、「利用したことがない」という回答も多い結果となりました。こちらも鹿屋に住んでいないことが理由にあるかもしれません。



(2) 売店の利用目的は？

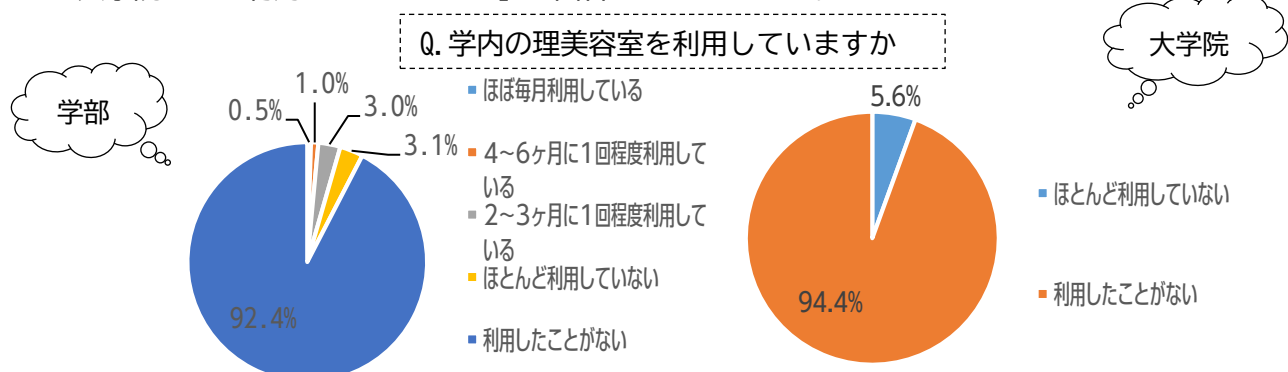
利用目的は、学部生・大学院生ともに「食料品の購入」が最も多かったです。学生の皆さんは課外活動前の補食や間食を目的に利用しているようです。学部生の自由記述では、「プロテインの販売」という要望がみられ、現在、実際に売店で販売しています。



3. 理美容室

理容室を「利用したことがない」と回答したのは、ほぼ全員の92.4%でした。これは前回調査の93.7%とほぼ変わらず、今回の調査でも利用頻度は低いようです。また、「ほぼ毎月利用している」という学生は、前回の2.7%から0.5%へと減少しましたが、「2～3ヶ月に1回程度利用する」学生は前回調査の0.7%から3%に増加しました。このように、現在福利厚生施設としては最も利用頻度の低い施設の一つであると言えるでしょう。こちらは理・美容室ですので、皆さん利用できる施設です。是非一度利用してみたいかがでしょうか？

大学院生は「利用したことがない」の回答が94.4%でした。



Ⅷ 新型コロナウイルス感染症

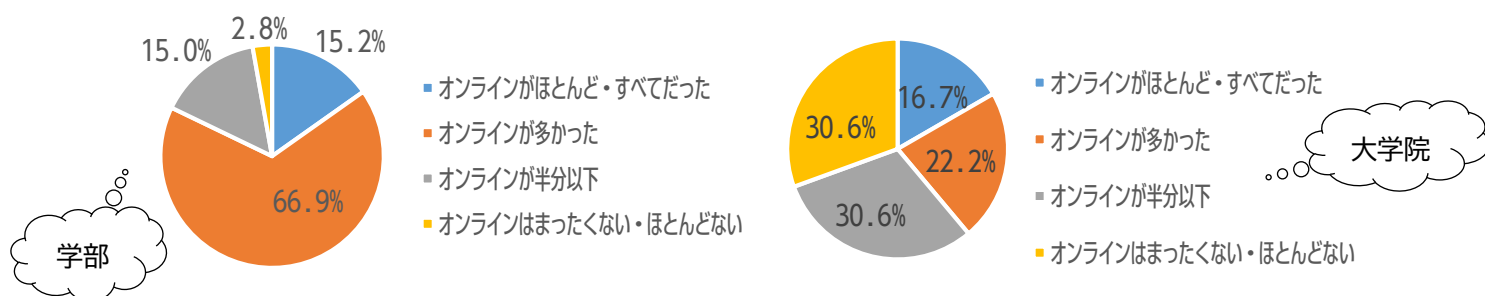
令和2年度から新型コロナウイルス感染症の予防により、大学の授業もオンラインで行われるものが増えました。今回の調査では新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目を追加し、学生のみなさんの状況を確認することとしました。

(1) 今まで受講した授業における対面授業とオンライン授業の割合

学部生については、「オンラインがほとんど・すべてだった」「オンラインが多かった」を合わせると82.1%で最多でした。

大学院生は学部生とは逆に、「オンラインが半分以下」「オンラインはまったくない・ほとんどない」を合わせると6割となりました。

Q. 今まで受講した授業は対面授業とオンライン授業の割合はどのくらいでしたか

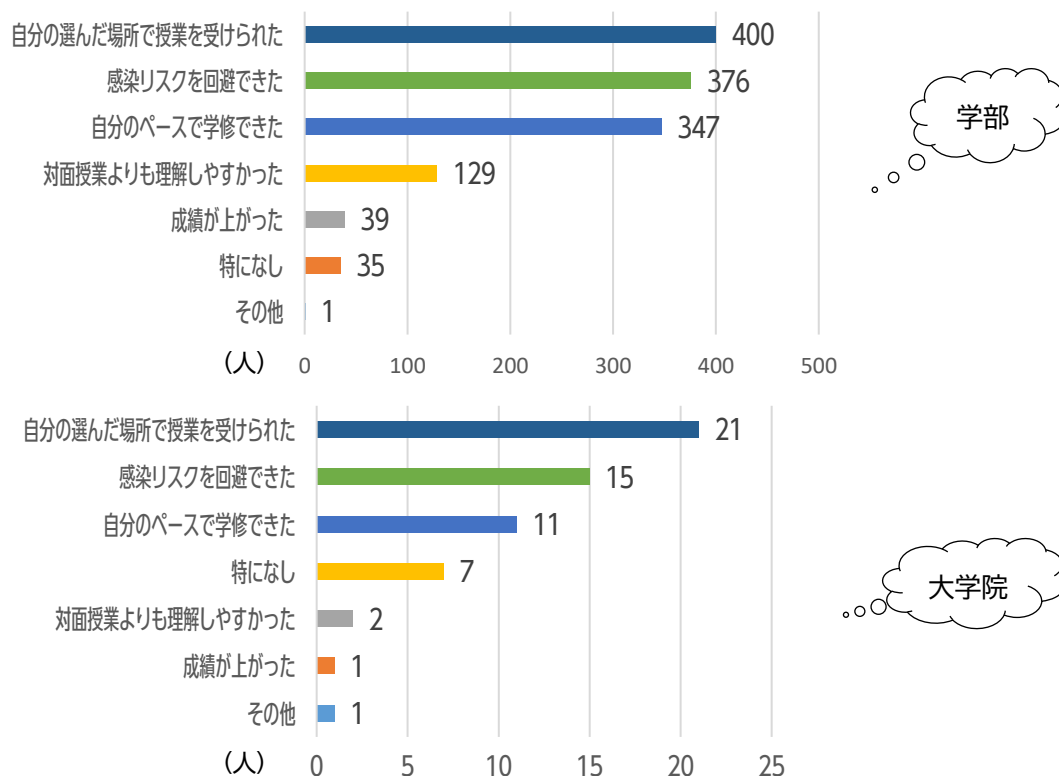


(2) オンライン授業でよかった点

学部生のオンライン授業でよかった点として、「自分の選んだ場所で授業を受けられた」「感染リスクを回避できた」「自分のペースで学修できた」がトップ3の回答でした。

大学院生についても、学部生と同じ理由が同じ順でトップ3となっています。また、自由記述で「機器の使い方が上手くなった」という意見もあり、興味深いです。

Q. オンライン授業でよかった点を選んでください（複数回答可）

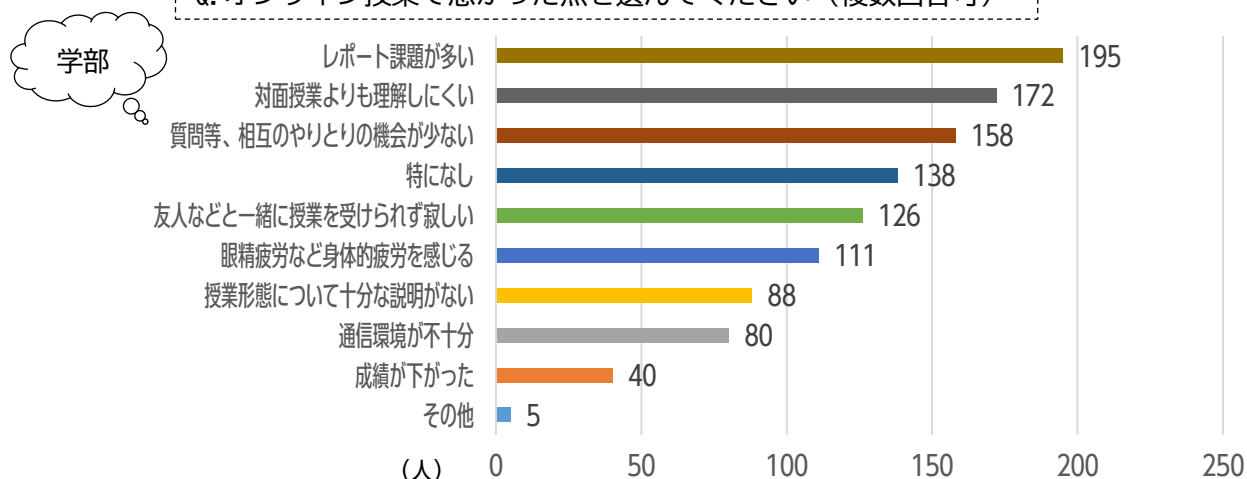


(3) オンライン授業の悪かった点

学部生のオンライン授業の悪かった点については、「レポート課題が多い」という理由がトップでした。これはオンライン授業だとある意味仕方のないことかもしれませんが。「質問等、相互のやりとりの機会が少ない」についても 158 人が選択しており、学生の皆さんの内に秘めた熱意が感じられました。また、「友人などと一緒に授業を受けられず寂しい」「眼精疲労など身体的疲労を感じる」という、“オンラインあるある”も多くの学生が感じているようです。

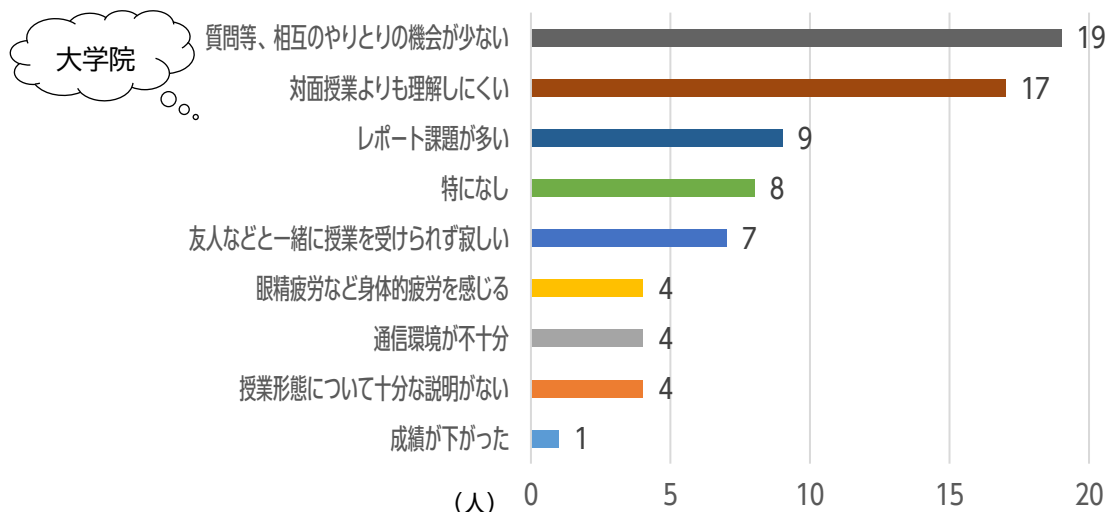
なお、ほとんどの学生はきちんと出席し課題や試験を受けて合格点に達すれば単位を取れているのですが、その他の回答（自由記述）を見るとごく一部の学生は通信障害やエラーにより成績が悪かった、取れなかったという意見をもっているようです。

Q. オンライン授業で悪かった点を選んでください（複数回答可）



大学院生については、「質問等、相互のやりとりの機会が少ない」が一番多く、次いで「対面授業よりも理解しにくい」が2位となりました。特に専門性の高くなる大学院生にとっては、オンライン授業では少し物足りない傾向にあるのかもしれません。

Q. オンライン授業で悪かった点を選んでください（複数回答可）

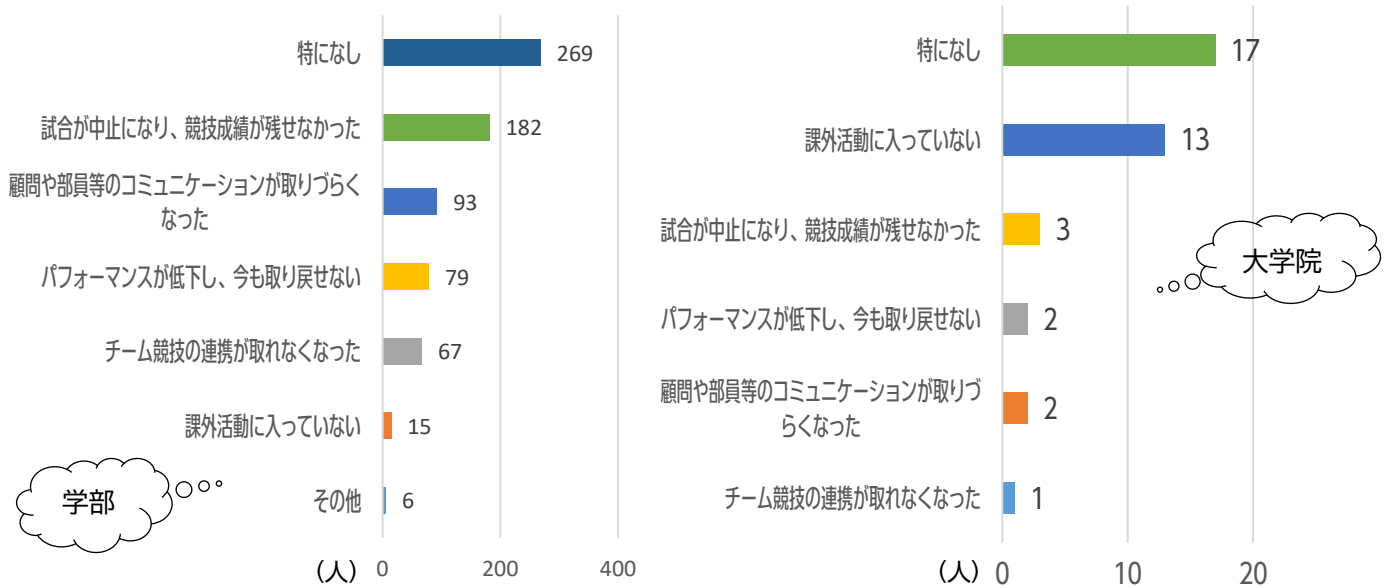


(4) 課外活動で練習ができなかった・試合が中止になったことによる影響

この質問に対する結果は意外なもので、影響が「特になし」という回答が最多となりました。これは少し我々も安心したところです。ただ、「パフォーマンスが低下し、今も取り戻せない」を選んだ学生も 79 名おり、その点での深刻な状況が見られました。

大学院生については、課外活動に入っている学生は少ないものの、やはり競技成績が残せなかったことやパフォーマンスの低下といった影響が見られました。

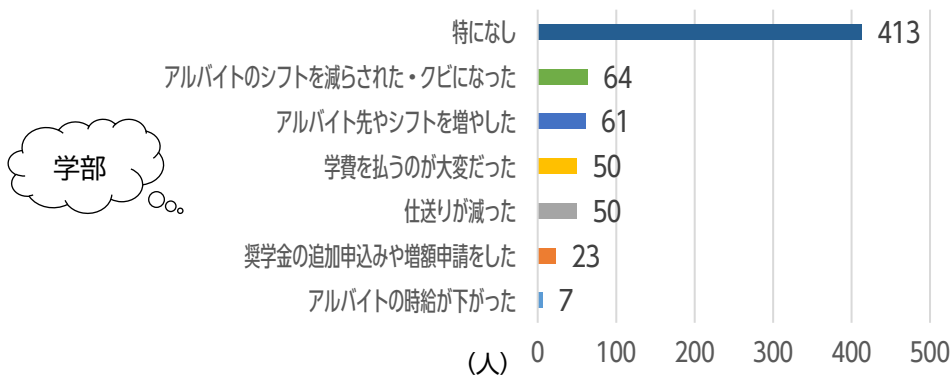
Q. 課外活動で練習ができなかった・試合が中止になったことにより、どのような影響がありましたか。(複数回答可)



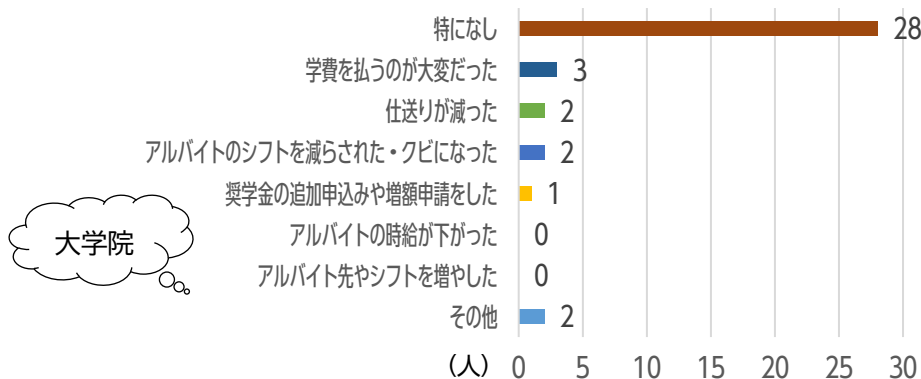
(5) 経済状況への影響

学部生については多くの学生には影響がなかったものの、アルバイト関連で影響があった、学費の負担感、仕送りの減少、それに伴う奨学金の追加や増額申請があったことが明らかになりました。

Q. 経済状況へどのような影響がありましたか (複数回答可)



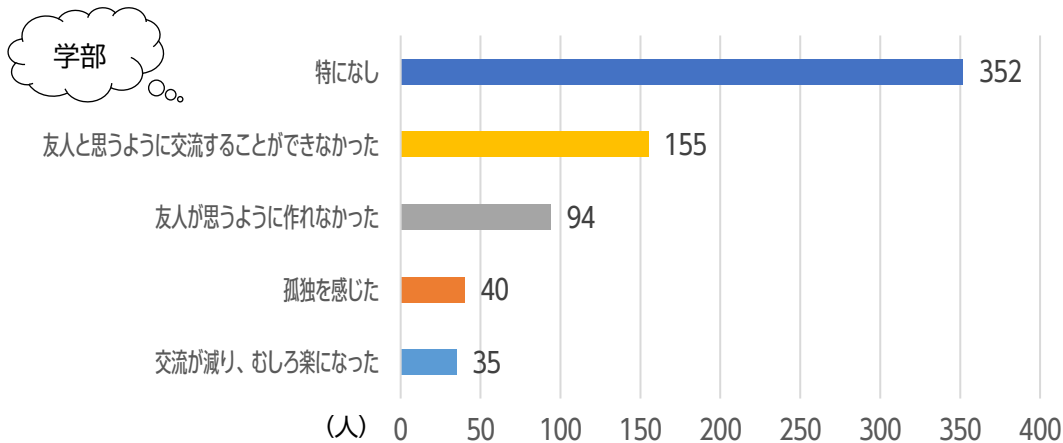
大学院生においても「特になし」が最多でした。また、その他(自由記述)の中に、留学生からコロナの影響でやむを得ず1年休学し奨学金への影響が出たこと、また非常勤講師をしていると思われる学生から担当予定だった授業が閉講となり収入に影響したという回答がありました。



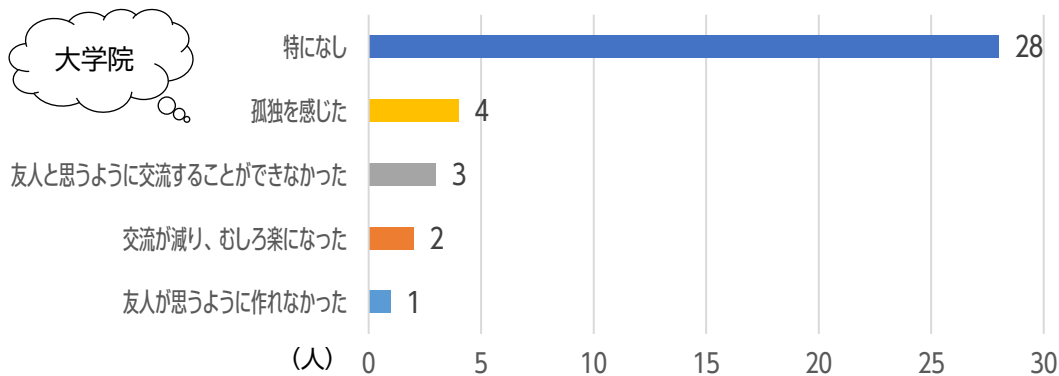
(6) 友人関係への影響について

特になしが大多数でしたが、思うように交流できなかった、友人が思うように作れなかった、孤独を感じたという学生さんもある程度見受けられます。授業はオンライン、課外活動は対面となると、良くも悪くも交友関係が課外活動に偏りがちになります。徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつありますので、皆さんには今からでも、様々な機会幅広く交友関係を持っていただくことを期待します。

Q. 友人関係への影響がありましたか（複数回答可）



大学院生も大多数が「影響なし」とのことでしたが、次点で孤独を感じた、友人と思うように交流することができなかった、という学生もいるようです。大学院生は人数も少ないので、より孤独を感じる方が多いのかもしれませんが。



IX 大学への意見・要望

学部生の皆さんより、大学に対する要望、期待することとして60数件の回答がありました。前回同様ほとんどが要望で、内容としては、設備の充実に関すること（空調の設置、屋外トレーニング場の整備、シャワー室の増、故障箇所の修理など）が最も多く、次いで、食事や住宅環境の改善（学食の値段、バイキング形式の導入、学生宿舎の整備、洋式トイレの設置等）に関する要望が多く見られました。これらの意見は、学生委員会から各関係部署に検討を依頼し、今後の学生生活支援に役立てたいと思います。全ての要望にすぐに応えるのは難しく時間を要すると思いますが、皆さんの生活環境の改善に向け、大学全体で取り組んでいければと思います。

大学院生の皆さんからは、4件の回答がありました。専攻外の学生との交流及び専攻外の授業の受講や留学生のための活動を希望する声が聞かれる一方で、トレーニング場の自由解放を望む声もありました。

X 大学に対する満足度

最後に、在学生の皆さんが総合的に判断して”本学に満足しているか“を調査しました。以下がその結果です。

まずは学部生ですが、「大変満足している」が27.1%（前回34.0%から減）、「満足している」が54%（前回50.8%から増）、「どちらともいえない」が16.2%（前回12.3%から増）、「不満である」が0.5%（前回2.1%から減）、「大変不満である」が2.1%（前回0.8%から増）という結果になりました。前回データとの比較はそもそもの回答実数が異なりますので単純に比較はできませんが、大方の学部生が満足傾向にあるものの、それ以外（「どちらでもない」と「不満」「大変不満」合わせた回答）の傾向が増えていることに関して、コロナ禍で制約された日常等の影響が関わっているものと思われる。

次に大学院生ですが、「大変満足している」が36.1%、「満足している」が52.8%、「どちらともいえない」が11.1%、「不満である」、「大変不満である」が0%でした。

今後、学生委員会としましては、皆さんの学生生活がより有意義なものになるように今回の調査結果を活用しつつ企画・運営していきたいと考えます。

あとがき

今回の実態調査は回答率が8割に達し、コロナ禍での学生生活を知る大変意味深いものでした。

前回（令和2年度）の調査と比較すると、コロナ禍での学生生活の変化がうかがえました。特に「食事」や「居住」の形態は変わっていませんが、「自動車通学」が増え「学食」や「売店」の利用が激減していました。授業もリモートが増えたことにより、自宅で授業を受け、大学キャンパスへ来なくなったことが分かります。ほかに学修以外でのインターネットの利用時間は「5時間以上利用」の割合が増加し、ネット社会がより浸透したと考えられました。また学生の悩みについても、「課外活動の悩み」より「進路・就職の悩み」の方が多くなり、出口の見えないコロナ禍で先行き不安な状況と思われました。

今回の調査報告書を参考にし、より良い学生生活を送るために学生と教職員が知恵を出し合い、体育大学らしい学生相互の連帯感など学生委員会が中心となって取り組むことを今後期待します。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた学生諸氏、本調査の実施・報告書の作成にご尽力いただいた関係の教職員の方々に、深く厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

令和4年度学生委員会
副委員長 濱田 幸二

このアンケートは、あなたの学生生活の実態を知り、今後における学生諸君の課外活動及び健康管理などの福利厚生について、学生生活の充実を図るための参考とするものです。また、このアンケートは無記名で行うものであり、ありのままを記入してください。
なお、アンケート結果については、本学の学生支援・修学支援に係る施策に利用いたしますので、あらかじめご承知おきください。その他の目的に利用することはありません。

回答記入上の注意	
1. 回答は無記名とし、令和4年10月1日現在で記入してください。	
2. 回答は原則として1つですが、【複数選択可】と記載されている場合、あてはまるものをすべて選択してください。	
3. 質問事項で該当する回答項目がない場合は、できるだけ近いものを選んで回答してください。	
4. 「その他」を選んだときは、具体的な内容を記入してください。また、設問によっては、必要事項を記入するものがありますので、注意してください。	
アンケート回答期限：10月18日（火）	

I. 基本事項

1. 課程	1. スポーツ総合課程 2. 武道課程
2. 学年	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次 4. 4年次 5. 5年次以上（平成30年・2018年度以前入学）
3. 性別	1. 男 2. 女 3. その他または無回答

II. 生活状況

4. 住居は次のどれですか。	1. 自宅 2. アpart・マンション（貸借関係が購入した自宅以外のマンションなどを含む。） 3. 下宿・貸間 4. 学生宿舎 5. その他（親戚宅など）
5. 朝食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
6. 昼食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
7. 夕食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
8. 通学のための交通手段は主に何ですか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. バス
9. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか。	1. はい 2. いいえ

(5) 学生生活とアルバイトとの関係はどうか。	1. 授業を犠牲にしている 2. 教養・娯楽の時間を切り詰めている 3. 睡眠時間を切り詰めている 4. 課外活動を抑えている 5. ほとんど支障はない
17. 奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。【複数選択可】	1. 日本学生支援機構 2. 地方公共団体（都道府県・市区町村） 3. 民間企業・民間団体 4. いずれも受けたことはない
18. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。【複数選択可】	1. 父母等関係者からの仕送りが軽減できる 2. ゆとりある生活ができる 3. 定期的な収入になる 4. アルバイトに精を出さなくてよい 5. 奨学金のおかげで勉強が成り立っている
19. 入学後トラブルにあったことがありますか。【複数選択可】	1. ない 2. 悪徳商法 3. 架空請求 4. アルバイト関連 5. 宗教勧誘 6. 金銭関連 7. インターネット関連 8. その他（ ）

10. 運転免許を取得している人にお尋ねします。 (1) 入学後交通違反をしたことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
(2) 交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。【複数選択可】	1. スピード違反 2. 酒気帯び運転 3. 駐車違反 4. 一時停止違反 5. 右左折禁止違反 6. 免許不携帯 7. シートベルト着用違反 8. その他（ ）
11. 入学後交通事故にあった（をした）ことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
12. 自動車（バイクを含む）を所有していますか。	1. はい 2. いいえ
13. 自動車（バイクを含む）を所有している人にお尋ねします。任意保険に加入していますか。	1. はい 2. いいえ
14. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか。	1. ほとんど使用しない 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上4時間未満 6. 4時間以上5時間未満 7. 5時間以上
15. 今年度、アルバイトをしたことがありますか。（していますか。）	1. ある 2. ない
16. 15で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1) アルバイトの主な紹介先はどこですか。	1. 学生課（掲示板） 2. 教員 3. 友人・知人・先輩 4. アルバイト情報誌 5. その他（ ）
(2) アルバイトの職種は何ですか。	1. 家庭教師・学習塾講師 2. 一般事務 3. 販売・サービス 4. 調査 5. 土木工事 6. その他（ ）
(3) 1週間に平均何時間くらいアルバイトをしますか。（夏期休業期間中を除く。）	1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上6時間未満 4. 6時間以上8時間未満 5. 8時間以上10時間未満 6. 10時間以上12時間未満 7. 上記以上（ ）時間
(4) アルバイトをする主な目的は何ですか。【複数選択可】	1. 社会勉強のため 2. 生活費のため 3. 学費のため 4. 課外活動の活動費のため 5. 趣味・レジャーのため 6. アルバイトそのものを楽しむため 7. その他（ ）

III. 健康状態

20. 現在の健康状態はどうか。	1. 良好 2. やや不調 3. 不調
21. 20で「やや不調」「不調」と答えた人にお尋ねします。 その原因は何ですか。【複数選択可】	1. 睡眠不足 2. 食生活の乱れ 3. 不規則な生活 4. 課外活動による疲労 5. 精神的な悩みや不安 6. その他（ ）
22. 本年4月以降、病気・ケガをしましたか。【複数選択可】	1. いいえ 2. 風邪 3. 新型コロナウイルス感染症 4. 循環器（心臓・血圧） 5. 精神疾患 6. 消化器（胃腸・肝臓） 7. 呼吸器系 8. 泌尿器・生殖器（腎臓・膀胱・前立腺） 9. 外傷（切り傷・擦り傷・打撲） 10. 捻挫 11. 骨折 12. 火傷 13. 歯 14. その他（ ）
23. 現在、悩みや不安がありますか。	1. 特にな 2. 多少あるが問題はない 3. ある
24. 23で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1) あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか。【複数選択可】	1. 勉強 2. 進路・就職 3. 経済的理由 4. 友人関係 5. 異性関係 6. 身体的不調 7. 家族との関係 8. 課外活動 9. 政治社会問題 10. 自分の性格 11. 人生観 12. アルバイト関係 13. その他（ ）
(2) あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか。	1. いる 2. いない
(3) (2)の設問で相談できる人が「いる」と答えた人にお尋ねします。 次のどの人に相談しますか。【複数選択可】	1. 家族・親戚 2. 友人・先輩 3. 中高の時の先生 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 保健管理センターや学内心理カウンセラー 8. 学外のカウンセラーや医者などの専門家 9. その他（ ）
25. 日頃健康上心がけていることは何ですか。	1. 食事 2. 睡眠 3. 特にな 4. その他（ ）
26. 就寝時間は何時ごろですか。	1. 午後10時以前 2. 午後10時～11時 3. 午後11時～午前0時 4. 午前0時～午前1時 5. 午前1時以降
27. 起床時間は何時ごろですか。	1. 午前4時以前 2. 午前4時～5時

	3. 午前5時～6時 4. 午前6時～7時 5. 午前7時～8時 6. 午前8時以降
28.平均睡眠時間はどれくらいですか。	1. 4時間以下 2. 5時間程度 3. 6時間程度 4. 8時間程度 5. 9時間以上
29. お酒をどのくらい飲みますか。	1. 全く飲まない 2. ほとんど飲まない 3. 週に数回飲む 4. ほぼ毎日飲む
30. タバコは吸いますか。	1. 吸わない 2. 1日に5本未満 3. 1日に5～10本 4. 1日に11本～20本 5. 1日に20本以上

-5-

V. 大学生活の状況

36. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか。	1. 持っている 2. 持っていない
37. あなたにとって、大学はどのようなところですか。【複数選択可】	1. 学問を学ぶところ 2. 競技力を高めるところ 3. 将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけること 4. 社会人としての一般的な教養を身につけること 5. 自分のやりたいことができること 6. 友人を得るところ 7. 学歴を得るところ 8. 特に考えていない
38. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか。	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト 6. 特になし
39. 現在の学生生活は充実していますか。	1. かなり充実している 2. どちらかといえば充実している 3. どちらかといえば充実していない 4. 充実していない
40. 充実している点をすべて挙げてください。【複数選択可】	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト
41. 充実していない点をすべて挙げてください。【複数選択可】	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト
42. ボランティア活動をしていますか。	1. 現在している 2. 以前したことがある 3. していない 4. 将来的にはしてみたい
43. 41で「現在している」「以前したことがある」と答えた人にお尋ねします。その内容はどれですか。【複数選択可】	1. 障害児・障害者に係わる活動 2. 学校等でのスポーツ指導 3. 高齢者に係わる活動 4. 環境美化活動 5. 募金活動 6. 国際交流活動 7. 災害等の復興支援活動 8. その他()
44. 41で「していない」「将来的にはしてみたい」と答えた人にお尋ねします。その主な理由は何か。【複数選択可】	1. 参加したいボランティア活動が見つからない 2. 参加したいボランティア活動はあるが、時間がない 3. 情報やきっかけがない 4. 関心がない
45. 海外留学についてどう思いますか。【複数選択可】	1. 語学を目的として留学したい 2. 専門分野の研究を目的として留学したい 3. 競技力向上のために留学したい 4. 留学したいとは思わない

-7-

IV. 課外活動状況

31. 大学における課外活動をどう思いますか。	1. 必要 2. あるほうがよい 3. あまり必要でない 4. 不要
32. 課外活動に加入していますか。	1. 加入している 2. 以前は加入していたが現在は加入していない 3. 入学時から加入していない
33. 32. で「1. 加入している」と回答した人にお尋ねします。	1. 自分の専門を生かすため 2. 健康・教養のため 3. 競技力向上を図るため 4. 友人を得るため 5. その他()
(1) 課外活動に加入した動機は何ですか。【複数選択可】	()
(2) 1日あたり平均何時間くらい活動していますか。(遠征、試合等を除く)	() 時間
(3) 課外活動と学業は両立できていますか。	1. 両立できている 2. 学業が少し犠牲になっている 3. 学業がかなり犠牲になっている
(4) 課外活動に満足していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない
(5)(4)で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 施設が足りない 2. 良い指導者がいない 3. 施設が自由に使えない 4. 練習時間が足りない 5. その他()
34. 32. で「2. 以前は加入していたが現在は加入していない」と回答した人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 経済的理由 4. 束縛されたくない 5. 内容に満足できない 6. 顧問教員等との関係上の理由 7. 部員との関係上の理由 8. その他()
35. 課外活動に加入していない人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 自分に適した課外活動団体がいない 4. 経済的理由 5. 束縛されたくない 6. その他()

-6-

VI. ハラスメント

46. 大学入学後ハラスメントを受けたことがありますか。	1. ある 2. ない
47. 46で「ある」と答えた人にお尋ねします。(1) どのような人からハラスメントを受けましたか。【複数選択可】	1. 先輩 2. 同級生 3. 後輩 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 事務職員 8. その他()
(2) ハラスメントに対してあなたはどのように対応しましたか。【複数選択可】	1. 特に何もしなかった 2. 拒否や抗議をした 3. 冗談で済ませようとした 4. 無視した 5. 考えないようにした 6. 相手を避けようとした 7. 誰かに相談した 8. その他()
(3) 相談した人は誰でしたか。【複数選択可】	1. 学内のハラスメント相談員 2. 家族・親類 3. 友人・先輩 4. 教員 5. 事務職員 6. 相談しなかった 7. その他()
(4) ハラスメントはあなたにとってどんな影響がありましたか。【複数選択可】	1. 進路の決定、成績の判定、選手選考で不利な扱いを受けた。 2. 課外活動や研究室での人間関係が悪くなった。 3. 大学に行くのが嫌になった。 4. 勉強(研究)する気がなくなった。 5. 憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった。 6. 不眠や食欲不振など体調を崩した。 7. 特に影響はなかった。
48. 全員にお聞きします。ハラスメント問題について、大学にどのような対応をとってほしいですか。【複数選択可】	1. 講演会などハラスメントに関する学内の啓発を進めてほしい 2. ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい 3. 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい 4. 大学の対応には関心がない 5. その他(具体的な) ()
49. 本学にハラスメント相談窓口があり、ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか。	1. 知っていて相談したことがある 2. 知っていて相談したことはない 3. 知らない

-8-

Ⅶ. 学内施設利用状況

50. 学生食堂をどのくらい利用していますか。	1. ほぼ毎日利用している 2. 週3~4日程度利用している 3. 週1~2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
51. 50で「ほとんど利用していない」と答えた人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 混雑している 2. 待ち時間が長い 3. メニューが少ない 4. 美味しくない 5. 弁当を持参している 6. その他()
52. 売店をどのくらい利用していますか。	1. ほぼ毎日利用している 2. 週3~4日程度利用している 3. 週1~2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
53. 売店の利用目的は次のどれですか。【複数選択可】	1. 書籍・雑誌・教科書・文房具類の購入 2. スポーツ用品の購入 3. 食料品の購入 4. 日用雑貨類・切手・はがきの購入 5. クリーニング等の取次申込
54. 学内の理美容室を利用していますか。	1. ほぼ毎月利用している 2. 2~3ヶ月に1回程度利用している 3. 4~6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない

Ⅷ. 新型コロナウイルス感染症に関して

55. 今まで受講した授業は対面授業とオンライン授業の割合はどのくらいでしたか。	1. オンラインはまったくない・ほとんどない 2. オンラインが半分以下 3. オンラインが多かった 4. オンラインがほとんど・すべてだった
56. オンライン授業でよかった点を選んでください。【複数選択可】	1. 対面授業よりも理解しやすかった 2. 自分のペースで学修できた 3. 自分の選んだ場所授業を受けられた 4. 感染リスクを回避できた 5. 成績が下がった 6. 特になし 7. その他()
57. オンライン授業で悪かった点を選んでください。【複数選択可】	1. 授業形態について十分な説明がない 2. 対面授業よりも理解しにくい 3. 質問等、相互のやりとりの機会が少ない 4. レポート課題が多い 5. 友人などと一緒に授業を受けられず寂しい 6. 通信環境が不十分 7. 眼精疲労など身体的疲労を感じる 8. 成績が下がった 9. 特になし 10. その他()
58. 課外活動で練習ができなかった・試合が中止になったことにより、どのような影響がありましたか。【複数選択可】	1. パフォーマンスが低下し、今も取り戻せない 2. 試合が中止になり、競技成績が残せなかった 3. チーム競技の連携が取れなくなった 4. 顧問や部員等とのコミュニケーションが取りづらくなった 5. 特になし 6. 課外活動に入っていない

	7. その他()
59. 経済状況へどのような影響がありましたか。該当するものを全て選んでください。【複数回答可】	1. 仕送りが減った 2. 学費を払うのが大変だった 3. 奨学金の追加申込みや増額申請をした 4. アルバイト先やシフトを増やした 5. アルバイトのシフトを減らされた・クビになった 6. アルバイトの時給が下がった 7. 特になし 8. その他()
60. 友人関係への影響がありましたか。該当するものを全て選んでください。【複数回答可】	1. 友人が思うように作れなかった 2. 友人と思うように交流することができなかった 3. 交流が減り、むしろ寂しくなった 4. 孤独を感じた 5. 特になし 6. その他()

Ⅸ. 大学に対する要望（学生生活全般、施設設備、課外活動等）や期待することがあれば、記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

X. 大学に対する満足度

61. 総合して、あなたは学生として、今の鹿屋体育大学に満足していますか？	1. 大変満足している 2. 満足している 3. どちらともいえない 4. 不満である 5. 大変不満である
---------------------------------------	--

学生生活アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケートは、あなたの学生生活の実態を知り、今後における学生諸君の課外活動及び健康管理などの福利厚生について、学生生活の充実を図るための参考とするものです。また、このアンケートは無記名で行うものであり、ありのままを記入してください。
なお、アンケート結果については、本学の学生支援・修学支援に係る施策に利用いたしますので、あらかじめご承知おきください。その他の目的に利用することはありません。

回答記入上の注意

1. 回答は無記名とし、令和4年10月1日現在で記入してください。
2. 回答は原則として1つですが、【複数選択可】と記載されている場合、あてはまるものをすべて選択してください。
3. 質問事項で該当する回答項目がない場合は、できるだけ近いものを選んで回答してください。
4. 「その他」を選んだときは、具体的な内容を記入してください。また、設問によっては、必要事項を記入するものがありますので、注意してください。

アンケート回答期限：10月18日（火）

I. 基本事項

1. 課程	1. 修士課程 2. 博士後期課程または後期3年の課程のみの博士課程
2. 学年	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次
3. 性別	1. 男 2. 女 3. その他または無回答

II. 生活状況

4. 住居は次のどれですか。	1. 自宅 2. アpart・マンション（父母等親縁者が購入した自宅以外のマンションなどを含む。） 3. 下宿・貸間 4. 学生宿舎 5. その他（親戚宅など）
5. 朝食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
6. 昼食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
7. 夕食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
8. 通学のための交通手段は主に何ですか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. バス
9. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか。	1. はい 2. いいえ
10. 運転免許を取得している人にお尋ねします。 (1)入学後交通違反をしたことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回

	4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
(2)交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。【複数選択可】	1. スピード違反 2. 酒気帯び運転 3. 駐車違反 4. 一時停止違反 5. 右左折禁止違反 6. 免許不携帯 7. シートベルト着用違反 8. その他（ ）
11.入学後交通事故にあった（をした）ことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
12.自動車（バイクを含む）を所有していますか。	1. はい 2. いいえ
13.自動車（バイクを含む）を所有している人にお尋ねします。任意保険に加入していますか。	1. はい 2. いいえ
14. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか。	1. ほとんど使用しない 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上4時間未満 6. 4時間以上5時間未満 7. 5時間以上
15. 現在、常勤または非常勤で勤務している就業先がありますか？ ※大学院のみの項目	1. ある 2. ない
16. 今年度、アルバイトをしたことがありますか。（していますか。）	1. ある 2. ない
17.16で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)アルバイトの主な紹介先はどこですか。	1. 学生課（掲示板） 2. 教員 3. 友人・知人・先輩 4. アルバイト情報誌 5. その他（ ）
(2)アルバイトの職種は何ですか。	1. 家庭教師・学習塾講師 2. 一般事務 3. 販売・サービス 4. 調査 5. 土木工事 6. その他（ ）
(3)1週間に平均何時間くらいアルバイトをしますか。（夏期休業期間中を除く。）	1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上6時間未満 4. 6時間以上8時間未満 5. 8時間以上10時間未満 6. 10時間以上12時間未満 7. 上記以上（ ）時間

(4)アルバイトをする主な目的は何ですか。【複数選択可】	1. 社会勉強のため 2. 生活費のため 3. 学費のため 4. 課外活動の活動費のため 5. 趣味・レジャーのため 6. アルバイトそのものを楽しむため 7. その他（ ）
(5)学生生活とアルバイトとの関係はどうですか。	1. 授業を犠牲にしている 2. 教養・娯楽の時間を切り詰めている 3. 睡眠時間を切り詰めている 4. 課外活動を抑えている 5. ほとんど支障はない
18. 奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。【複数選択可】	1. 日本学生支援機構 2. 地方公共団体（都道府県・市区町村） 3. 民間企業・民間団体 4. いずれも受けたことはない
19. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。【複数選択可】	1. 父母等関係者からの仕送りが軽減できる 2. ゆとりある生活ができる 3. 定期的な収入になる 4. アルバイトに精を出さなくてよい 5. 奨学金のおかげで勉学が成り立っている
20. 入学後トラブルにあったことがありますか。【複数選択可】	1. ない 2. 悪徳商法 3. 架空請求 4. アルバイト関連 5. 宗教勧誘 6. 金銭関連 7. インターネット関連 8. その他（ ）

III. 健康状態

21. 現在の健康状態はどうですか。	1. 良好 2. やや不調 3. 不調
22. 20で「やや不調」「不調」と答えた人にお尋ねします。 その原因は何ですか。【複数選択可】	1. 睡眠不足 2. 食生活の乱れ 3. 不規則な生活 4. 課外活動による疲労 5. 精神的な悩みや不安 6. その他（ ）
23. 本年4月以降、病氣・ケガをしましたか。【複数選択可】	1. いいえ 2. 風邪 3. 新型コロナウイルス感染症 4. 循環器（心臓・血圧） 5. 精神疾患 6. 消化器（胃腸・肝臓） 7. 呼吸器系 8. 泌尿器・生殖器（腎臓・膀胱・前立腺） 9. 外傷（切り傷・擦り傷・打撲） 10. 捻挫 11. 骨折 12. 火傷 13. 歯 14. その他（ ）
24. 現在、悩みや不安がありますか。	1. 特にな 2. 多少あるが問題はない 3. ある
25. 24で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか。【複数選択可】	1. 勉学 2. 進路・就職 3. 経済的理由 4. 友人関係 5. 異性関係 6. 身体的不調 7. 家族との関係 8. 課外活動 9. 政治社会問題 10. 自分の性格 11. 人生観 12. アルバイト関係 13. その他（ ）
(2)あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか。	1. いる 2. いない
(3)(2)の設問で相談できる人が「いる」と答えた人にお尋ねします。 次のどの人に相談しますか。【複数選択可】	1. 家族・親戚 2. 友人・先輩 3. 中高の時の先生 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 保健管理センターや学内心理カウンセラー 8. 学外のカウンセラーや医者などの専門家 9. その他（ ）
26. 日頃健康上心がけていることは何ですか。	1. 食事 2. 睡眠 3. 特にな 4. その他（ ）
27. 就寝時間は何時ごろですか。	1. 午後10時以前 2. 午後10時～11時 3. 午後11時～午前0時 4. 午前0時～午前1時 5. 午前1時以降
28.起床時間は何時ごろですか。	1. 午前4時以前 2. 午前4時～5時 3. 午前5時～6時

	4. 午前6時～7時 5. 午前7時～8時 6. 午前8時以降
29.平均睡眠時間はどれくらいですか。	1. 4時間以下 2. 5時間程度 3. 6時間程度 4. 8時間程度 5. 9時間以上
30. お酒をどのくらい飲みますか。	1. 全く飲まない 2. ほとんど飲まない 3. 週に数回飲む 4. ほぼ毎日飲む
31. タバコは吸いますか。	1. 吸わない 2. 1日に5本未満 3. 1日に5～10本 4. 1日に11本～20本 5. 1日に20本以上

IV. 課外活動状況	
32. 大学における課外活動をどう思いますか。	1. 必要 2. あるほうがよい 3. あまり必要でない 4. 不要
33.課外活動に加入していますか。	1. 加入している 2. 以前は加入していたが現在は加入していない 3. 入学時から加入していない
34. 32.で「1. 加入している」と回答した人にお尋ねします。 (1) 課外活動に加入した動機は何ですか。【複数選択可】	1. 自分の専門を生かすため 2. 健康・教養のため 3. 競技力向上を図るため 4. 友人を得るため 5. その他()
(2) 1日あたり平均何時間くらい活動していますか。(遠征、試合等を除く)	() (時間)
(3)課外活動と学業は両立できていますか。	1. 両立できている 2. 学業が少し犠牲になっている 3. 学業がかなり犠牲になっている
(4)課外活動に満足していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない
(5)(4)で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 施設が足りない 2. 良い指導者がいない 3. 施設が自由に使えない 4. 練習時間が足りない 5. その他()
35. 32.で「2. 以前は加入していたが現在は加入していない」と回答した人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 経済的理由 4. 束縛されたくない 5. 内容に満足できない 6. 顧問教員等との関係上の理由 7. 部員との関係上の理由 8. その他()
36. 課外活動に加入していない人にお尋ねします。その理由は何か。【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 自分に適した課外活動団体がいない 4. 経済的理由 5. 束縛されたくない 6. その他()

- 5 -

- 6 -

V. 大学生生活の状況

36. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか。	1. 持っている 2. 持っていない
37. あなたにとって、大学はどのようなところですか。【複数選択可】	1. 学問をするところ 2. 競技力を高めるところ 3. 将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけること 4. 社会人としての一般的な教養を身につけること 5. 自分のやりたいことができること 6. 友人を得るところ 7. 学歴を得るところ 8. 特に考えていない
38. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか。	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事(※大学院のみの項目) 6. アルバイト 7. 特になし
39. 現在の学生生活は充実していますか。	1. かなり充実している 2. どちらかといえば充実している 3. どちらかといえば充実していない 4. 充実していない
40. 充実している点をすべて挙げてください。【複数選択可】	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事(※大学院のみの項目) 6. アルバイト
41. 充実していない点をすべて挙げてください。【複数選択可】	1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事(※大学院のみの項目) 6. アルバイト
42. ボランティア活動をしていますか。	1. 現在している 2. 以前したことがある 3. していない 4. 将来的にはしてみたい
43. 41で「現在している」「以前したことがある」と答えた人にお尋ねします。その内容はどれですか。【複数選択可】	1. 障害児・障害者に係わる活動 2. 学校等のスポーツ指導 3. 高齢者に係わる活動 4. 環境美化活動 5. 募金活動 6. 国際交流活動 7. 災害等の復興支援活動 8. その他()
44. 41で「していない」「将来的にはしてみたい」と答えた人にお尋ねします。その主な理由は何か。【複数選択可】	1. 参加したいボランティア活動が見つからない 2. 参加したいボランティア活動はあるが、時間がない 3. 情報やきっかけがない 4. 関心がない
45. 海外留学についてどう思いますか。【複数選択可】	1. 語学を目的として留学したい 2. 専門分野の研究を目的として留学したい 3. 競技力向上のために留学したい 4. 留学したいとは思わない

- 7 -

VI. ハラスメント

46. 大学入学後ハラスメントを受けたことがありますか。	1. ある 2. ない
47.46で「ある」と答えた人にお尋ねします。(1) どのような人からハラスメントを受けましたか。【複数選択可】	1. 先輩 2. 同級生 3. 後輩 4. 指導教員・副指導教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4～5以外の教員 7. 事務職員 8. その他()
(2)ハラスメントに対してあなたはどのように対応しましたか。【複数選択可】	1. 特に何もしなかった 2. 拒否や抗議をした 3. 冗談で済ませようとした 4. 無視した 5. 考えないようにした 6. 相手を避けようとした 7. 誰かに相談した 8. その他()
(3)相談した人は誰でしたか。【複数選択可】	1. 学内のハラスメント相談員 2. 家族・親類 3. 友人・先輩 4. 教員 5. 事務職員 6. 相談しなかった 7. その他()
(4)ハラスメントはあなたにとってどんな影響がありましたか。【複数選択可】	1. 進路の決定、成績の判定、論文指導、選手選考で不利な扱いを受けた。 2. 課外活動や研究室での人間関係が悪くなった。 3. 大学に行くのが嫌になった。 4. 勉強(研究)する気がなくなった。 5. 憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった。 6. 不眠や食欲不振など体調を崩した。 7. 特に影響はなかった。
48. 全員にお聞きします。ハラスメント問題について、大学にどのような対応をとってほしいですか。【複数選択可】	1. 講演会などハラスメントに関する学内の啓発を進めてほしい 2. ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい 3. 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい 4. 大学の対応には関心がない 5. その他(具体的な：)
49. 本学にハラスメント相談窓口があり、ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか。	1. 知っていて相談したことがある 2. 知っているが相談したことはない 3. 知らない

- 8 -

Ⅶ. 学内施設利用状況

50. 学生食堂をどのくらい利用していますか。	1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
51. 50で「ほとんど利用していない」と答えた人にお尋ねします。その理由は何ですか。【複数選択可】	1. 混雑している 2. 待ち時間が長い 3. メニューが少ない 4. 美味しくない 5. 弁当を持参している 6. その他()
52. 売店をどのくらい利用していますか。	1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
53. 売店の利用目的は次のどれですか。【複数選択可】	1. 書籍・雑誌・教科書・文房具類の購入 2. スポーツ用品の購入 3. 食料品の購入 4. 日用雑貨類・切手・はがきの購入 5. クリーニング等の取次申込
54. 学内の理美容室を利用していますか。	1. ほぼ毎月利用している 2. 2～3ヶ月に1回程度利用している 3. 4～6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない

Ⅷ. 新型コロナウイルス感染症に関して

55. 今まで受講した授業は対面授業とオンライン授業の割合はどのくらいでしたか。	1. オンラインはまったくない・ほとんどない 2. オンラインが半分以上 3. オンラインが多かった 4. オンラインがほとんど・すべてだった
56. オンライン授業でよかった点を選んでください。【複数選択可】	1. 対面授業よりも理解しやすかった 2. 自分のペースで学修できた 3. 自分の選んだ場所で授業を受けられた 4. 感染リスクを回避できた 5. 成績が上がった 6. 特になし 7. その他()
57. オンライン授業で悪かった点を選んでください。【複数選択可】	1. 授業形態について十分な説明がない 2. 対面授業よりも理解しにくい 3. 質問等、相互のやりとりの機会が少ない 4. レポート課題が多い 5. 友人などと一緒に授業を受けられず寂しい 6. 通信環境が不十分 7. 眼精疲労など身体的疲労を感じる 8. 成績が下がった 9. 特になし 10. その他()
58. 課外活動で練習ができなかった・試合が中止になったことにより、どのような影響がありましたか。【複数選択可】	1. パフォーマンスが低下し、今も取り戻せない 2. 試合が中止になり、競技成績が残せなかった 3. チーム競技の連携が取れなくなった 4. 顧問や部員等とのコミュニケーションが取りづらくなった 5. 特になし 6. 課外活動に入っていない

	7. その他()
59. 経済状況へどのような影響がありましたか。該当するものを全て選んでください。【複数回答可】	1. 仕送りが減った 2. 学費を払うのが大変だった 3. 奨学金の追加申込みや増額申請をした 4. アルバイト先やシフトを増やした 5. アルバイトのシフトを減らされた・クビになった 6. アルバイトの時給が下がった 7. 特になし 8. その他()
60. 友人関係への影響がありましたか。該当するものを全て選んでください。【複数回答可】	1. 友人が思うように作れなかった 2. 友人と思うように交流することができなかった 3. 交流が減り、むしろ楽になった 4. 孤独を感じた 5. 特になし 6. その他()

Ⅸ. 大学に対する要望（学生生活全般、施設設備、課外活動等）や期待することがあれば、記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

X. 大学に対する満足度

55. 総合して、あなたは学生として、今の鹿屋体育大学に満足していますか？	1. 大変満足している 2. 満足している 3. どちらともいえない 4. 不満である 5. 大変不満である
---------------------------------------	--

学生生活アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

National
Institute of
Fitness and
Sports
In KANOYA